

イベントの詳細な内容や予約については、ホームページをご覧ください。

【学校説明会】※予約制

● 一般

春① 5月25日(金)ナイト
春② 5月26日(土)午前
春③ 5月26日(土)午後
※春①～③は同内容

秋① 9月15日(土)午後
秋② 9月24日(日)午前
秋③ 9月24日(日)午後
秋④ 9月29日(土)午後
秋⑤ 10月 6日(土)午後
秋⑥ 10月26日(金)ナイト
※秋①～⑥は同内容

● 海外帰国生 ※①・②は同内容

① 7月15日(日)午後
② 9月 8日(土)午前

【オープンキャンパス】※予約制

夏 7月15日(日)8:30～12:30【4～6年生対象】
冬 12月16日(日)8:30～12:30【4・5年生対象】

【入試問題説明会】※予約制

● 一般 ※①～⑤は同内容

① 11月10日(土)午後 ④ 12月 7日(金)ナイト
② 11月23日(金)午前 ⑤ 1月12日(土)午前
③ 11月23日(金)午後

● 海外帰国生

11月10日(土)午後

【共立祭】(文化祭) ※予約制

10月20日(土)・21日(日) 9:00～16:00

※入試相談コーナーを設けています

【個別学校見学】

随時実施 ※前日までに要予約

【2019年度入試日程(一般)】

入試名	2/1	2/2	2/3(AM) インタラクティブ	2/3 (PM) 合科型
入学試験	4科型	4科型	英語インタラクティブ+算数	合科型+算数+面接
入学試験日	2月1日(金)	2月2日(土)	2月3日(日) 午前	2月3日(日) 午後

【2019年度入試日程(帰国生)】

入学試験	英or国+算+作文+面接
入学試験日	12月2日(日)

※入学手続き日は2月4日(月)

ACCESS MAP



 共立女子中学高等学校

〒101-8433 東京都千代田区一ツ橋2-2-1
TEL(03)3237-2744 FAX(03)3237-2782
E-mail chukou@kyoritsu-wu.ac.jp
http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/chukou/



共立女子中学高等学校

「誠実・勤勉・友愛」の校訓のもと、 時代を超えて“輝き、翔ばたく女性”へ

「男女共同参画社会」のよき担い手として、また一人ひとりが社会人・家庭人として、豊かな人生を歩むために、本校では以下のような「育てたい生徒像」を教育目標として掲げました。

「誠実・勤勉・友愛」の校訓のもと、時代を超えて“輝き、翔ばたく女性”

本校における中高6年間の教育を通じて、将来どのような場所・場面においても、輝き、翔ばたくことができる女性を育てること、それこそが本校の伝統に沿った教育の使命であると考えています。

お預かりした生徒一人ひとりが6年間で「誠実」「勤勉」「友愛」の徳性を身につけ、「周囲と協調しながら個性を発揮」しつつ、「自立を志向し、社会に貢献」できる女性に育つよう、教職員一同努力して参ります。

教育改革で求められる

「思考力」「判断力」「表現力」は 共立がこれまで育んできた力

2020年以降大きく変わる大学入試。センター試験の廃止や記述問題の導入、AO・推薦入試の増加や英語4技能試験など不安に感じていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。AIの発達により、ただ知識を多く蓄積しているだけでは評価されない時代になってきています。今後、求められるのは人間にしか持ち得ない「思考力」「判断力」「表現力」。これらは受験科目だけに特化しない、共立のリベラルアーツの中でこそ育まれる力です。さらに1学年320人の中で、様々な友人と出会い、コミュニケーション力を自然に磨ける環境です。

学習・進路・生活関連	P2~27
募集要項・入試関連	P28~35
PTA・安全管理・通学圏関連	P36~38



KYORITSU 6-YEAR EDUCATION

【学習と生活】

〔学習計画&進学指導〕

■カリキュラム—1：教育課程とコース編成	P 3, 4	
■カリキュラム—2：主要教科の時間配分と進捗	P 5, 6	
■6年間の教科別学習計画	P 7~16	
●学習計画：国語 — P7	●学習計画：数学 — P8	●学習計画：英語 — P9
●学習計画：社会 — P10	●学習計画：理科 — P11	●学習計画：音楽 — P12
●学習計画：美術 — P13	●学習計画：保健体育 — P14	
●学習計画：技術・家庭 — P15	●学習計画：道徳・礼法 — P16	
■進学指導&大学合格実績	P 17, 18	
■グローバル教育	P 19, 20	
■補習・補講・長期休暇講座	P 21	
■学習・進路 Q&A	P 22	
〔学校生活〕		
■生活時間・制服・教職員データ	P 23	
■健康・心の相談体制	P 24	
■部活動	P 25, 26	
■学校生活 Q&A	P 27	

4+2 システム

【前半4年間】 ●基礎力を育てる 主体的な学習姿勢を作り上げ、学び続けることと、将来像を描き出すための多様な啓発を実現していくために、教科の学習をバランスよく配しています。本質を見つめた深みある授業が、「全てに一生懸命な共立生」、「大志を抱く共立生」を育てていきます。また、毎年クラス替えを行い、様々な生徒や教員と出会うことで、多様な価値観を学びます。

【後半2年間】 ●実践力を育てる 高2からは、進学志望分野・学部徐々に焦点を絞り込んだ学習が行えるよう、国公立文系、私立文系、理系の3コース制を敷いています。そして高3では、志望校・学部の受験科目にさらに的を絞った履修が行えるよう、選択科目を多く設定し、より高いレベルの志望校合格を目指した受験体制を整えています。

※大学入試や社会状況の変化にともない、生徒の志望や学力にも変化が生じます。本校ではそれに合わせて最適な環境をつくるため、カリキュラムを調整することがあります。



●習熟度別授業

本校では一人ひとりの理解度に合わせた授業を行っています。そのため複数科目で段階の習熟度別授業編成を展開しています。基幹教科である国語・数学・英語は、一部を除き、高校2年までに教科書レベルを終了するカリキュラムが用意されています。個々の状況に見合ったきめ細かな指導を行うために、英語では中学1年次より少人数授業を行い、1年次の途中からはさらに習熟度を加味します。また数学も1年次の途中から習熟度別授業となります。現在、中学3年では国語(古典分野3時間)と数学(6時間)そして英語の3教科で習熟度別授業を実施しており、高校では時間数も一層拡大されて、さらに基幹教科以外でも実施されるようになります。

●コースの目的と概要

高 2

国公立文系対応コース

文系科目に重心を置きながら、数学や理科を履修し、社会科学系学部などにも対応できるように設定されたコースです。

私立文系対応コース

英語の総単位数を多くし、文系進学希望者が個々の志向によって学ぶべき科目を多く履修できるように設定されたコースです。

理系対応コース

文系科目を軽くし、理系進学希望者が学ぶべき科目を多く履修できるように設定されたコースです。

高 3

国公立文系コース

文系科目以外にも理数科目が履修できるように設定されたコースです。
(数学が必要な私立文系にも対応可)

私立文系コース

文系進学希望者が個々の志向に合わせて必要な科目を履修できるように設定されたコースです。

理系コース

理系進学希望者が個々の志向に合わせて必要な科目を履修できるように設定されたコースです。

●週間授業時間数 (30年度入学生の6年間教育課程予定)

	中1	中2	中3	高1
国語 (うち書写) (うち国語表現)	4.5 (0.5) (1)	5 (1) (1)	6 (1)	国語総合 5 世界史AB 2 数学Ⅱ 3 数学B 3 物理基礎 2 化学基礎 2 生物基礎 2 体育 2 保健 1 C英語Ⅰ 3 英語表現Ⅰ 3 英会話 1 家庭基礎 2
社会	地理 4 歴史 ・ 公民 ・	・ 4 ・	・ ・ 3	音楽Ⅰ ② 美術Ⅰ ② 工芸Ⅰ ② 書道Ⅰ ②
数学	5	5	6	音楽Ⅱ ② 美術Ⅱ ② 工芸Ⅱ ② 書道Ⅱ ②
理科	理科1 2 理科2 2	2 2	2 2	音楽Ⅲ ② 美術Ⅲ ② 工芸Ⅲ ② 書道Ⅲ ②
音楽	2	1.5	1	音楽Ⅳ ② 美術Ⅳ ② 工芸Ⅳ ② 書道Ⅳ ②
美術	2	1.5	1	音楽Ⅴ ② 美術Ⅴ ② 工芸Ⅴ ② 書道Ⅴ ②
保健体育	3	3	3	音楽Ⅵ ② 美術Ⅵ ② 工芸Ⅵ ② 書道Ⅵ ②
技術・家庭	2	2	1	音楽Ⅶ ② 美術Ⅶ ② 工芸Ⅶ ② 書道Ⅶ ②
英語(うち会話)	5.5 (1)	6 (1)	7 (1)	音楽Ⅷ ② 美術Ⅷ ② 工芸Ⅷ ② 書道Ⅷ ②
道徳/礼法	1	1	1	音楽Ⅸ ② 美術Ⅸ ② 工芸Ⅸ ② 書道Ⅸ ②
特別活動	1	1	1	音楽Ⅹ ② 美術Ⅹ ② 工芸Ⅹ ② 書道Ⅹ ②

中学の「総合的な学習の時間」は、オリエンテーション・各種講演会・共立祭などの行事や、「テーマ学習」でのレポート作成を通して行っています。

数学Ⅰ、数学Aは中学3年で履修します。

【国公立文系対応】		【私立文系対応】		【理系対応】	
必修科目	単位	必修科目	単位	必修科目	単位
現代文B	3	現代文B	3	現代文A	2
古典B	5	古典B	5	古典B	3
現代社会	2	現代社会	2	地理AB	2
数学演習	4	体育	2	現代社会	2
化学生物基礎演習	2	保健	1	数学Ⅲ	6
体育	2	C英語Ⅱ	3	化学	4
保健	1	英語表現Ⅱ	4	体育	2
C英語Ⅱ	3	英会話	1	保健	1
英語表現Ⅱ	4	英語演習A	2	C英語Ⅱ	3
英会話	1	家庭基礎	2	英語表現Ⅱ	4
選択科目	単位	選択科目	単位	選択科目	単位
世界史B ②	2	世界史B ②	2	物理 ④	4
地理AB ②	2	地理AB ②	2	生物 ④	4
地理B ④	4	化学生物基礎演習 ②	2		
日本史B ④	4	地理B ④	4		
		日本史B ④	4		
		音・美・工・書 ②	2		
		仏語Ⅰ ②	2		
		中国語Ⅰ ②	2		
		食物 ②	2		

その他、高校では「総合的な学習の時間」として、1学年で「表現力育成プログラム」「自己啓発プログラム」を推進し、それを土台として3年間にわたって「進路学習」を実施しています。
※「表現力育成プログラム」は小論文の添削指導、「自己啓発プログラム」は自らが希望する進路に関する啓発活動が中心となります。

【国公立文系】		【私立文系】		【理系】	
科目	単位	科目	単位	科目	単位
現代文B	3	現代文B	3	体育	3
古典B	3	古典B	3	C英語Ⅲ	3
古典演習	2	古典演習	2	英語演習B	4
体育	3	体育	3	数学演習	3
C英語Ⅲ	3	C英語Ⅲ	3	社会と情報	2
英語演習B	4	英語演習B	4	数学演習 ⑥	6
社会と情報	2	社会と情報	2	数学特演 ⑥	6
世界史B ④	4	世界史B ④	4	物理 ③	3
日本史B ④	4	日本史B ④	4	化学 ③	3
数学演習 ③	3	世界史演習 ③	3	生物 ③	3
化学基礎演習 ②	2	日本史演習 ③	3	物理演習 ②	2
生物基礎演習 ②	2	地理AB ②	2	化学演習 ②	2
化学生物基礎演習 ②	2	倫理 ②	2	生物演習 ②	2
世界史演習 ②	2	政治・経済 ②	2	地理特演 ②	2
日本史演習 ②	2	地理論述演習 ②	2	政経演習 ②	2
化学演習 ②	2	地理演習 ②	2	倫理演習 ②	2
生物演習 ②	2	英会話 ②	2	倫政演習 ②	2
地理AB ②	2	基礎英文法 ②	2	地理論述演習 ②	2
倫理 ②	2	美術演習 ②	2	地理演習 ②	2
政治・経済 ②	2	食物 ②	2	英会話 ②	2
地理論述演習 ②	2	被服 ②	2	基礎英文法 ②	2
地理演習 ②	2	音楽 ②	2	美術演習 ②	2
政経演習 ②	2	美術 ②	2	食物 ②	2
倫理演習 ②	2	工芸 ②	2	国語総合演習 ②	2
倫政演習 ②	2	書道 ②	2	英語総合演習 ②	2
食物 ②	2	仏語Ⅱ ②	2	食物 ②	2
		中国語Ⅱ ②	2		

■ は必修科目
■ は選択(必修)科目
■ は自由選択科目

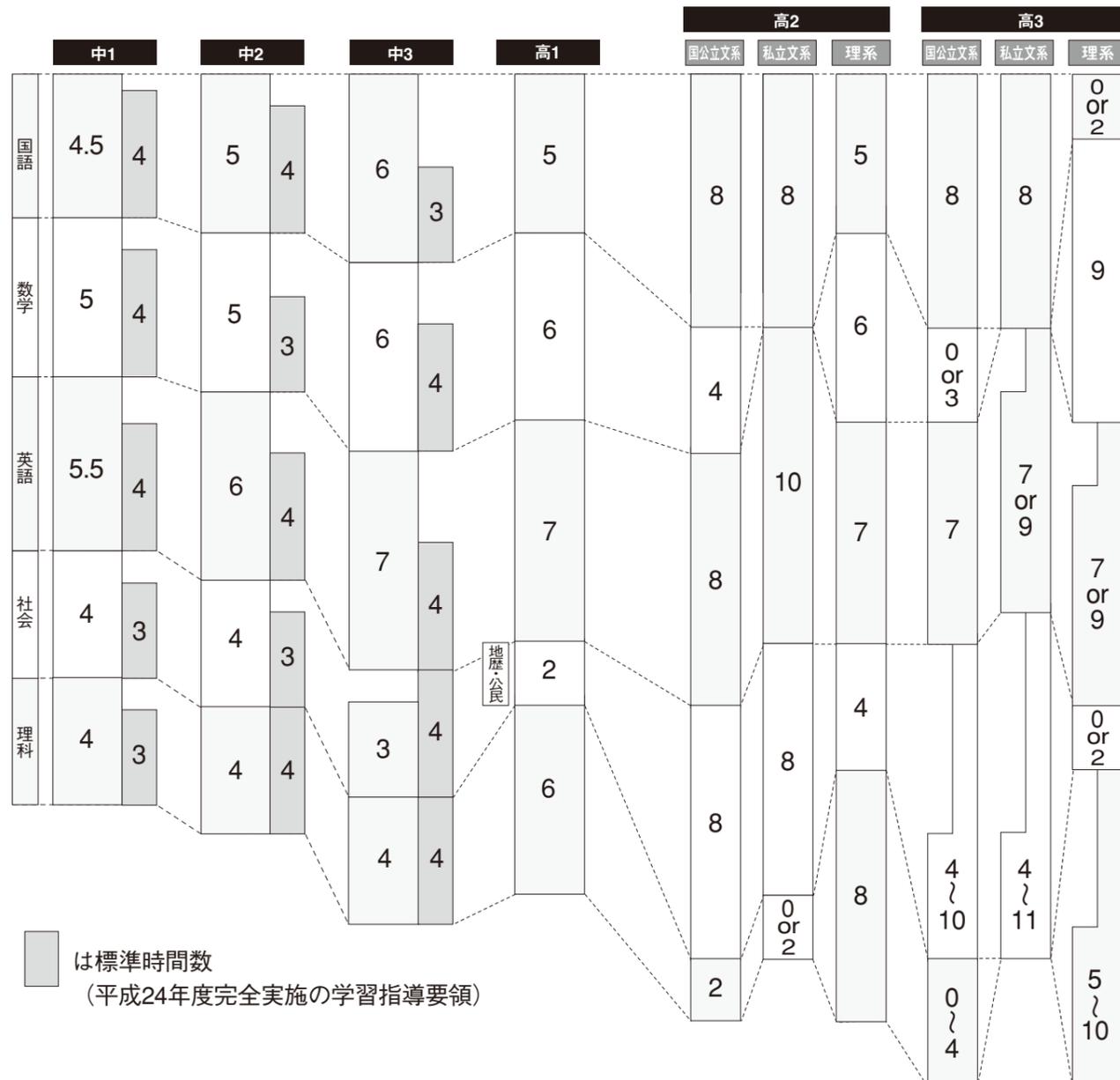
【主要教科の時間配分】

週6日・二期制により、各教科の時間数を十分に確保しながら、主要5教科、特に国、数、英の3教科に標準（公立）を大幅に上回る授業時間数の配分を実現しています。

標準との差は、中学3年間の3教科総計で500時間以上。授業時間数の比率で約1.5倍となっています。



●本校主要教科の授業時間数と標準（公立）との比較



【主要教科の進捗】

中高完全一貫化による6年間を合理的に再編成したカリキュラムを導入しているため、一概に標準との比較による先取りを提示できないところもありますが、受験対応の演習に十分な時間を残すだけの早い進捗を実現しています。

ただし、あくまで深く丁寧な授業を心がけ、苦手な生徒に対するフォローも充実させています。こうして培われた幅広く重厚な学力の土台が、高い学力を生み出すことにつながっています。



数学

項目	標準学年	本校
場合の数と確率 集合と論理 式と証明 図形と計量 二次関数 複素数と方程式 数と式 三平方の定理 相似な図形 関数 二次方程式 平方根 多項式 確率(統計を含む) 定理の発見と証明 三角形と四角形 平行と合同 一次関数 連立方程式 式の計算 空間図形 平面図形 比例と反比例 方程式 文字と式 正負の数	中1 中2 中3 高1・高2	中1 中2 中3

◎中1、2で中学校の内容を終了し、中3では高1の範囲(数学I、A)を指導します。
◎高1で高2の内容(数学II、B)を終了した後、高2からは文系、理系に分かれたコース別の展開となります。
◎教材は検定教科書の他に、副教科書として『体系数学』(数研出版)も使用しています。

英語

項目	標準学年	本校
強調・否定・倒置 仮定法 受動態(発展) 分詞・分詞構文 不定詞(発展) 名詞節 関係副詞 関係代名詞(What、発展) 副詞節(接続詞) 助動詞(発展) 使役動詞・知覚動詞 過去完了 間接疑問文・付加疑問文 感嘆文 不定詞(発展) 比較(発展) 関係代名詞 分詞 名詞・不定代名詞・前置詞 受動態 動名詞 現在完了形 文型 接続詞 基本時制と助動詞 不定詞 比較 未来表現 過去形 進行形 助動詞 疑問詞 一般動詞 be動詞 代名詞	中1 中2 中3 高1・高2	中1 中2 中3 高1~

◎中1~高3までの内容は高2までに指導し、高3からは生徒の進路に合わせた演習授業を展開しています。
◎教材は検定教科書の他に、『NEW TREASURE English Series』(Z会出版)も使用しています。

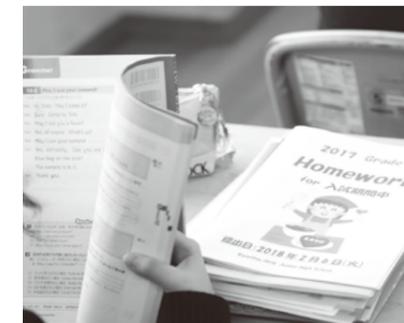
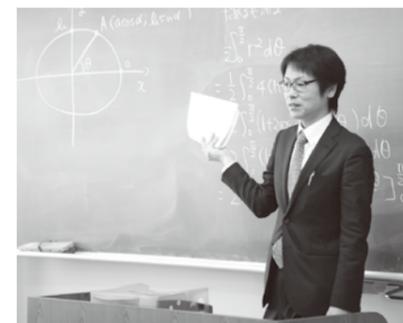
国語

現代文では、検定教科書に加えて、中学3年からは高校レベルの文章に多く触れ、幅広い分野の読解を心がけ、文学的素養や論理的思考力を身につけます。授業を進める際には教員が一方的に話すだけではなく、生徒同士の話し合いや作業の時間も取り、より深く立体的な学びを得られるような工夫をしています。また中学校3年間は国語表現の時間を中心に、ブックトークや創作活動で記述力やプレゼンテーション能力を培います。

古典では、現行の中学校指導要領における学習内容・方法に明確な段階規定はありませんが、現状の中学検定教科書では現代語訳や詳しい語注を付した古文・書き下した漢文を読むことに留まっています。しかし本校では、中1よりオリジナルテキスト『古典』と全員共通

の古語辞典を持ち、現代語訳を付さない古文を自力で読み解く力を養っており、また漢文においても訓点付の漢文で学習しています。そして発達段階に応じて、使用教材の難易度を上げていくという方法を採用しています。なお読解の鍵となる文法に関しては、中1でオリジナルテキストによって口語文法を学び、それを基に中2より古典文法の基礎を学びます。その結果、中3終了時には古典における用言の活用が、高1終了時には古典文法の体系が身につくカリキュラムとなっています。また、中3~高3の古典は習熟度別にクラスを分け、授業を展開しています。

語彙力強化の面では、漢字テストを定期的に行い、高校卒業までに漢検2級合格を目標とし、成果をあげています。



表現力豊かで、論理的思考のできる女性へ



今年度から新たに中学で新科目「国語表現」を設置することになりました。週1回のこの「国語表現」の時間は、中1はクラスごと、中2・中3はクラス2分割の少人数制で進められ、論述・創作・発表・討論などに取り組んで、記述・口述双方の表現力の育成を図ります。これは、2020年以降の大学入試への対策にもつながります。昨年度まで実施していた毎月一冊以上の感想文を書く「読書ノート」の取り組みも「国語表現」の活動に吸収して、感想文の書き方指導をより丁寧に行います。その他、従来本校で行ってきた作文やブックトークなども「国語表現」内に実施します。

夏休みには課題図書を全員が読み、校内読書感想文コンクールを行っています。優秀作品は表彰され、作文集『ともだち』に掲載されます。

プレゼンテーション能力向上のための取り組みとしては主に中学のブックトーク、高等学校のビブリオバトルがあります。その他、高等学校では小論文の実践的な指導が行われ、大学入試にも対応できる高い表現力を目指します。

語彙の習得のための漢字テストは、今年度より年間実施回数を10回に増やし、よりきめ細やかな指導を行います。また、漢字検定の校内準会場受検の機会を年2回設けており、高校卒業までに2級

の合格を目標にします。また、文法は中学1年からオリジナルテキスト『口語のきまり』によって口語のしくみを徹底して学び、古典文法の学習に備えます。

古典においては中学1年からオリジナルテキスト『古典』によって、古文・漢文を学習します。仮名遣いや辞書の引き方から始め、連句ゲームや辞書を使った遊び、百人一首大会などを含め、楽しみながら古典の導入を行います。

中学3年からは現代文と古典に分かれて授業が行われ、古典では難関大学に対応するハイレベルな教材を使った授業が、習熟度別授業編成で行われます。現代文では高校生向けの現代文や重要キーワード集なども併用し、抽象的文章への対応力を養います。

このように、生徒の能力に合わせて基礎力養成の徹底を図り、その後の応用力育成に、より多くの時間をかけられるようにしています。そして、高校2年終了時まで、近代日本の問題や自己存在に関わる問題などのテーマを評論・小説両面から学びながら、高校課程の修了と同等の学力をつけ、高校3年では演習を大きく取り入れ論理的思考力や文章理解力をより一層高めることによって、大学受験はもとより社会生活や大学の専門教育にも充分に対応できる国語力を養います。

自らの力で問題解決に取り組むための基礎力育成を目指します

本校の数学科では、中高6年間で三段階に分け、生徒の発達段階に応じた指導をしていきます。中学1・2年は中高一貫教育に適した教材である『体系数学』（数研出版）を中心に用い、その流れに基づいて授業を展開していきます。

中学1年の段階では、高校数学を視野に入れながらも、数学に対する興味・関心を高めるために、より身近な事象を題材とした授業を実践していくように日ごろから心がけています。また、学年後半に習熟度別授業を実施します。中学2年からは、生徒個々の学力に応じた授業内容を考慮し、ホームルームの2クラスを3段階に分けた少人数・習熟度別授業を実施します。将来の進路も視野に入れ、その土台となる基礎学力を重視しながら、中学2年までに中学3年分の内容を学習し終えます。また、発展的な内容を取り扱ったり、知的好奇心を高めたりするための補講や、基礎事項を定着させるための補習も行っています。中学3年からは高校の内容に入ります。中学3年、高校1年の段階では、大学受験を考慮した進路に意識を向け、それに見合うだけの実力をつけるための基礎固めを行います。

高校2年からは、文系・理系のコースに分かれます。国公立文系コースでは入試問題を踏まえた問題演習の授業を行います。理系コースでは数学ⅢCまたは、数学ⅠAⅡBの問題演習を行い、高校2年生



までで中高6年間の全ての内容を学習し終えます。高校3年では、文系・理系のそれぞれの進路に合わせた徹底的な入試問題演習を行い、大学入試に十分に備えていきます。

本校の数学科では、予備校・塾に依存することなく、進学校としても成果を出せる教科教育を実践し、自らの力で問題解決に取り組むことのできる力の育成を目指していきます。

学年	基礎学力養成期		基礎力充実・応用力発展期		問題発見・解決能力養成期		
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	
目標	日本語を適切に表現し正確に理解する能力を高める。		現代の文章及び古典の文章を通し、日本語を的確に理解する。		古今の文章を読み味わい、日本語そのもの、またそれを使う我々自身について考える態度を育てる。		
内容 及び 方法	現代 国語・ 現代文	○自習教材(ワーク)によって予習・復習を確実にさせる。 ○口語文法を中学1年終了までに習得。 ○文章の基礎的な読解の方法習得。		○問題演習を行い、論理的な読解力を養う。 ○様々なジャンルの文章に触れ、表現の多様性・可能性について考えさせる。 ○著名な作品に親しみ、文学史的視点を持たせる。		○概念語や現代用語の知識を拡充させ、現代の状況を考察させる。 ○近・現代文学の提示する問題を考えさせる。 ○各分野の評論を通し現代社会の問題への分析力・考察力を高める。	
	古典	○中学1年からオリジナルテキスト「古典」によって、古典の基礎を学習する。		○自主制作教材を使用し、古典文学を読み解く力を養う。 ○高校1年終了時に助動詞まで完全習得(古文)。 ○訓読のルールから句法の知識の拡充(漢文)。 ○副教材を使い、古典の世界や古語、漢文の句法の知識を培う。 ○(少人数)習熟度別授業		○自主制作の学習プリントを使用し、高校2年終了までに文語文法を習得。 ○古典作品から、伝統的な美意識・価値観について考えさせる。 ○問題演習形式で既習の知識を再確認し、古典作品や現代文を読む力・鑑賞する力を育成する。 ○少人数習熟度別授業	
	読書・ 表現	○「読書ノート」による推薦図書読書・原稿用紙の使い方指導。 ○朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○読書感想文コンクールにおける課題図書読書・表現指導。 ○作文添削指導、外部作文コンクール参加の奨励。 ○優秀作文集『ともだち』発行。 ○ブックトークによるプレゼンテーション能力の向上。		○修学旅行の紀行文指導。 ○「読書ノート」や朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○読書・LHRでの討議と関連させつつの表現指導。 ○優秀作品の生徒会機関誌等への掲載。 ○ブックトーク、ビブリオバトルによるプレゼンテーション能力の向上。		○読書記録や朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○ビブリオバトルによるプレゼンテーション能力の向上。 ○優秀作品の生徒会機関誌への掲載。 ○要約作業からスタートしての表現・小論文指導。	
漢字・ 語彙	○漢検4級合格を目指す。 ○常用漢字1600字程度。 ○漢字テスト年10回実施。		○漢検3級、準2級合格を目指す。2級受検準備。 ○全ての常用漢字・人名漢字。		○漢検2級以上合格を目指す。 ○3000字以上の漢字・動植物名・外国名。 ○評論・小説語彙の定着を目指す。		
書写	○文字を正しく書く能力を身につかせるとともに書写力を生活に役立てる態度を育てる。 ○俳句を書きながら、芸術的な仮名の要素をとり入れ、高校芸術「書道」への移行を行う。						

学年	数学への興味・関心を高め、考察態度を培う段階		数学への探求心を培い、考察態度を育む段階		数学をより深く発展的に考察する態度を高める段階					
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年				
目標	日常の事象から数学を発見する活動を通して数学のよさを感得し、数学の有用性を認識するとともに日常の問題の解決に数学を活用する態度を培う。		数学を一般化することから数学の有用性を感得し、数学の見方や考え方を通して、様々な問題を数学的に考察するとともに、これを的確に活用する態度を育む。		より高度な内容を学習し、数学を一般化することの意義を見いだすとともに、これを発展的な様々な問題に適用する態度を養う。					
内容 及び 方法	<ul style="list-style-type: none"> ●中学数学1年 <ul style="list-style-type: none"> ・正の数と負の数 ・文字と式 ・1次方程式 ・比例と反比例 ・平面図形 ・空間図形 ・不等式(高校) ●中学数学2年 <ul style="list-style-type: none"> ・式の計算 ・連立方程式 ・1次関数 ・図形と合同 ○習熟度別授業(後半) 		<ul style="list-style-type: none"> ・三角形と四角形 ・確率 ●中学数学3年 <ul style="list-style-type: none"> ・多項式 ・平方根 ・図形と相似 ・線分の比と計量 ・2次方程式 ・関数 ・三平方の定理 ・円(高校) ○少人数習熟度別授業 		<ul style="list-style-type: none"> ●高校数学1年 <ul style="list-style-type: none"> ・数と式 ・複素数と方程式 ・2次関数とグラフ ・式と証明 ・確率 ・三角形と三角関数(三角比) ○少人数習熟度別授業 		<ul style="list-style-type: none"> ●高校数学2年 <ul style="list-style-type: none"> ・図形と式 ・三角形と三角関数 ・いろいろな関数 ・平面上のベクトル ・空間のベクトル ・数列 ・微分法 ・積分法 ○少人数習熟度別授業 		<ul style="list-style-type: none"> ●高校数学3年 <ul style="list-style-type: none"> ・極限 ・微分法 ・微分法の応用 ・積分法 ・積分法の応用 ・いろいろな曲線 ・複素数 ○少人数習熟度別授業 ○少人数習熟度別授業 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校との関連に目を向け算数教育の現状を踏まえ、現実的な事象を数学的に捉えさせる。 ○生徒の思考を重視した問題解決型の授業展開を目指し、数学への興味・関心を高める。 									
	<ul style="list-style-type: none"> ○数学的な活動を重視し、具体から抽象へと、徐々に数学的な概念を発展させていく。 ○日常の授業において、できるだけ生徒の身近な事象を題材として、生徒の興味・関心を高める。 ○単なる知識の伝達や技能の習得だけでなく、問題解決型の授業形態を心がけている。 ○問題の解決過程において、「数学化」や「検証」も大切に、数学が日常生活の解決に役立つことを生徒に意識させる。 ○教科書の内容を深めたり、発展的に考察する態度を高め、高等教育にも対応できるようにする。 ○中学1年次後半から習熟度別授業を行い、高校2年次まで教科書すべてを終了する。 ○希望生徒には放課後に、生徒の習熟度に応じたハイレベルな補講や授業の補習などの個別指導を行う。 ○高校3年次は、大学受験の様々な科目パターンに対応するために、コースに対応して多様な演習授業を行う。内容は入試問題演習を中心とする授業を行い、実践力を養う。 									

多様なプログラムで、 バランスのとれた英語力を 育成します

本校の英語科では中高6年間を前期・中期・後期と3つに分け、生徒の発達段階に応じた指導目標を掲げています。

前期では視聴覚教材を多用した「音声による導入」、英語を実際に使う場面を想定した「言語活動」などを通して「聞く」「話す」という音声面を重視した発信型の英語の基礎力を身につけさせます。中学1年・2年次では発信する機会を増やし、よりきめ細かい指導を実現するために「少人数制指導」を実施していますが、1年次途中からはさらに習熟度を加味して授業を行います。

中期では生徒の論理的な思考の発達にあわせ、サイドリーダーによる「長文精読」や英文法の体系化を図る「高校内容先取り学習」を行い、読解力や作文力、つまり「読む」「書く」という技能を育成します。また、「少人数制習熟度別授業編成」により効果的な学習事項の定着を図っています。

後期では前期・中期で育んだ英語力を総合的に伸ばします。大学入試問題演習を中心に生徒の進路を見据えた発展的な指導を行います。クラスは「少人数制習熟度別授業編成」とし、読解は精読・速読・多読の指導を徹底し、希望者には外国人講師による「英作文添削指導」も実施しています。文法は入試問題を通して実践的な実力を身につけています。いずれも難関大学に合格できるだけの学力が身につくように指導して



います。

中学1年次から外国人講師による「英会話」の授業が少人数制で実施され、スピーチやグループ発表などの表現活動を実践しています。また全員が授業とは別に、自宅で海外の外国人講師と1対1で会話する「オンライン英会話」に取り組み、さらに希望者はイングリッシュシャワー（外国人講師による自己表現訓練講座）にも参加できます。

「Language Square」では、放課後、外国人講師が常駐し、生徒の質問に答えたり、独自のレクチャーを行うこともあります。

また、生徒の発達段階に応じた指導の工夫とともに、「英単語テスト」「レシテーション（暗唱）コンテスト」「イングリッシュシャワー」「夏季講座」「夏季海外研修」「ブリティッシュヒルズ研修」など多様なプログラムで生徒の総合的な英語力を伸ばします。

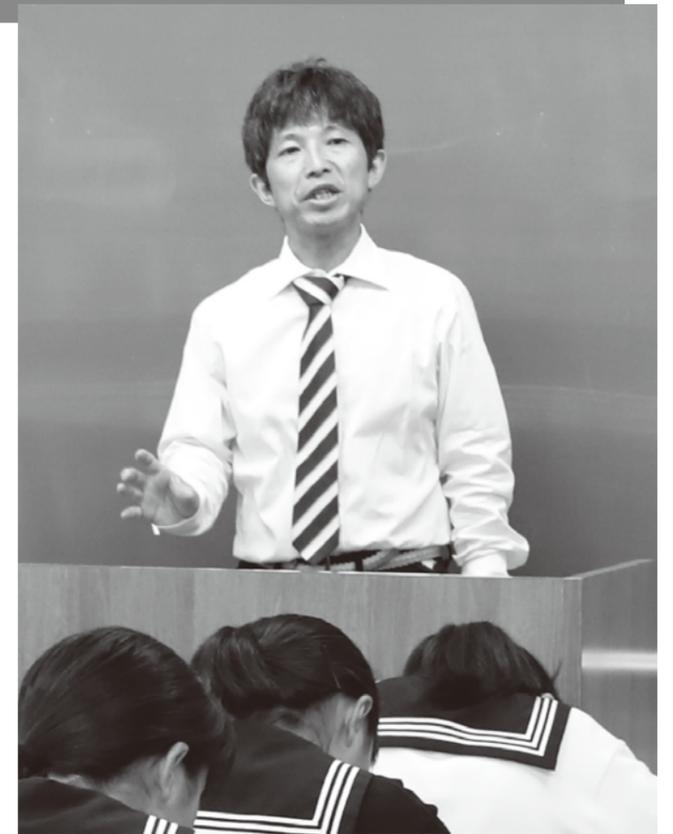
このように、社会で役に立つ英語力と異文化理解の態度・姿勢が身につくよう、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの技能をバランスよく育成することを念頭において指導しています。

学年	前期		中期		後期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	○外国語を学ぶ楽しさを体験させる。 ○「聞く」「話す」ということに重点を置く。		○英語力を総合的に高め、大学入試に向けてスムーズに対応できるように指導する。		○多彩な演習授業により、大学入試に十分対応できる実力を身につけさせる。	
授業形態	少人数制授業 (年度途中より習熟度を加味)		一斉授業 少人数制習熟度別編成授業			
語彙指導	英単語テスト(年に5、6回)		朝の英単語テスト(ほぼ毎週)			
	1000語	2000語	3000語	4000語	5000語	
文法指導	中学履修範囲修了		入試基礎事項をすべて学習		入試英文法演習	
	NEW TREASUREによる指導		NEW TREASUREなどによる指導			
読解指導	NEW TREASUREによる指導					
		サイドリーダー(基本)による指導	サイドリーダー(応用)による指導		入試長文演習	
自己表現活動	海外の外国人講師による少人数制英会話・暗誦コンテスト (家庭学習として「オンライン英会話」によるレッスン)			外国人講師による少人数制英会話		
	自己紹介・身のまわりの人の紹介	スキット・スピーチ・Show&Tellなど		ディベート・ディスカッション		
資格試験及び特別活動	英検4～3級	英検3～準2級	英検準2～2級		英検準1級(TOEFL-TEAP等対策)	
	GTEC for students					
		イングリッシュシャワー(基本)	イングリッシュシャワー(応用)	ブリティッシュヒルズ研修		
					交換留学派遣(3ヶ月)	
					交換留学受入	

独自教材を使用した 本質をついた授業で、 社会や歴史への深い理解を 育んでいます

中学3年間において、世界や日本の地理・歴史・公民の事象にできるだけ多く接し、公民的資質を養うとともに、社会科の基礎力定着を図ります。また、高校1年では世界史、高校2年では現代社会を全員が学ぶことで幅広く国際情勢を理解するとともに日常生活の中での情報を的確に判断・選択できる能力を育むことを目標としています。中学の段階ではオリジナル教材の「サブノート」を中心とする授業を行い、高校での範囲や項目の一部を取り込んで、学習内容の充実を図っています。

教科の性格上、中学で学んだ内容を高校ではさらに掘り下げるという意味での重複はありますが、高校2年からはコース制に対応して、大学受験を意識した科目の履修が始まります。受験科目としては世界史・日本史が中心となりますが、多様化する受験パターンに対応できるよう世界史・日本史・地理・政経・倫理などが選択科目として設置されます。文系コースの場合、世界史は高1～高3の3年間で、日本史は高2・高3の2年間で、それぞれ週に最大計11時間の履修が可能であり、とくに3年の「演習」では大学入試問題などを教材とした受験対応の授業が実施されます。国公立大学文



系学部の地歴・公民の2科目受験、また理系ではセンター試験にも充分に対応できるカリキュラムとなっています。

学年	前期		中期		後期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	社会科			地歴公民科		
	○地図や資料を活用し、世界各国と日本の人々の生活を理解させる。 ○環境や資源の重要性を考えるとともに、世界各国の社会的変化にも着目させる。	○様々な出来事や人物、時代の前後関係などを明らかにして、今日の社会がつけられてきた過程を理解させる。 ○「人物ファイル」を通してプレゼンテーション能力とともに自らの考えをまとめる力を養う。	○「ニュース報告」を通して時事問題を含めた社会事象を考察する態度を育てる。 ○政治・経済の基本を学び公民的資質を身につける。	○歴史の流れと、地理的位置の認識を深める。	○世界史:高1からの継続・発展学習 ○現代社会:社会の動向や課題に目を向け、その仕組みや解決への取り組みを理解する。 ○地理:気候・産業などを材料に世界地誌的な学習を行うことで、世界地理観を深める。 ○日本史:様々な史料に触れて歴史の流れを理解する。	○世界史は高1・2から、日本史と地理は高2からの継続・発展学習。 ○倫理・政経は、中3・高2で学んだ分野の発展学習。 ○各「演習」は、実践的な受験対策。
内容	●地理分野(4) 〔わたしたちの地球〕 〔世界の国々〕 〔世界と日本の結びつき〕 〔日本の国土〕 〔日本の産業〕 〔日本の諸地域〕	●歴史分野(4) 〔人類の誕生と古代社会〕 〔中世社会の成立と動乱〕 〔近世社会の成立と発展〕 〔近代国家の成立とアジア〕	●歴史・公民分野(3) 〔二度の世界大戦と日本〕 〔現代の日本と世界〕 〔人権の尊重〕 〔日本国憲法の原則〕 〔基本的人権の尊重〕 〔民主主義の政治〕 〔くらしと経済〕 〔世界平和の実現〕 〔地球時代〕	●世界史(2) 〔古代〕 〔中世〕	●世界史(2) 〔近世〕〔近代(前半)〕 ●現代社会(2) 〔現代の諸課題〕 〔現代社会と人間〕 〔現代の経済〕 ●地理(2) 〔世界地誌〕 ●地理(4) 〔世界地誌と系統地理〕 ●日本史(4) 〔原始・古代〕 〔中世〕 〔近世〕	●世界史(4) 〔近現代〕 ●日本史(4) 〔近現代〕 ●地理(2) 〔系統地理〕 ●倫理(2) ●政経(2) ●各「演習」(2～3) 世界史 日本史 地理 地理論述 倫理 政経 倫政

生徒の思考の発達状況を考え、合理的で柔軟な授業を展開しています

本校の理科では、「中高6年間を通じて柔軟な科学的思考力を育て、自ら問題を解決する力を身につける」ことを目標に指導を行っています。また、生徒の発達段階に合わせたカリキュラムに基づき授業を展開しています。

中学1・2年の2年間は、基礎学力を充実させる期間です。中学校レベルの内容全般について知識を整理し、実験や観察を多く取り入れながら、科学的な考え方の基礎を身につけます。各学年で理科1（物理・化学分野）、理科2（生物・地学分野）に分けて授業を展開します。

中学3年・高校1年の2年間は、高校理科の物理・化学・生物・地学各科目の基礎を習得する期間です。また、多様な進路選択に適應できるよう、実験とその考察を通して科学的な思考力を身につけさせ、基礎学力を完成させます。

高校2・3年の2年間は、大学受験に向けた応用力を身につける期間です。多様化し、変動する入試に対応できるように、科目選択に幅を持たせ、それぞれの内容を充実させています。また問題演習を多く取り入れた授業を展開しています。



学年	STEP1 (基礎学力定着期)		STEP2 (基礎学力完成期)		STEP3 (応用力完成期)		
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	
目標・方法	中学理科の教科書内容を習得させ、基礎的内容を定着させる。		高校理科の基礎を習得させ、多様な進路選択に対応できる力をつけさせる。		科目の選択に幅を持たせ、問題演習を多く取り入れ、大学受験に対応する力を完成させる。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○実験・観察と日常の授業から、教科書と日常生活における身近な事象とを結び付けることで、科学への興味・関心を高める。 ○問題集などを利用して基礎的な計算や思考ができるような授業を行い、生徒の基礎力の充実をはかる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○実験・観察を通して、具体的な内容から自然の原理を理解させ、科学的な概念の定着をはかる。 ○単元内容の理解度をより深めるため、中学3年次より高等学校の内容を取り入れ、発展的な学習指導を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 物理 実験・演習を通じて理解を深め、自然現象を物理法則を使って説明できるようにする。 化学 これまで学んできた化学を自然や身の回りの事象・現象へと広げて系統的に学習させる。 生物 生命現象を分子レベルでとらえ、生命の不思議さに関心を持つように指導する。生物と環境との関わりを理解させる。 		
内容	物理分野	光・音 いろいろな力 2力のつりあい 力の合成と分解 圧力と浮力 静電気と電流	電流とその利用 物体のいろいろな運動 力の規則性	運動の法則 エネルギーと仕事	物体の運動(放物運動) 運動の法則 波の性質 熱量保存の法則	光波と干渉 ドップラー効果 運動量保存の法則 円運動 電流と磁場 交流回路	気体の法則 気体の分子運動 熱力学第1法則 粒子性・波動性 [入試問題演習]
	化学分野	身のまわりの物質 (物質と温度/気体・水溶液の性質)	物質のなり立ち 原子構造とイオン 物質どうしの化学変化 化学変化と物質の質量 化学変化とその利用	酸、アルカリとイオン 化学変化と電池 科学技術と人間	物質の構成 (原子の構造、化学結合) 物質の変化 (物質量、酸・塩基、酸化・還元) 化学と人間生活	物質の状態と平衡 物質の変化と平衡 無機化合物の性質と利用 有機化合物の性質と利用	高分子化合物の性質と利用 [入試問題演習]
	生物分野	植物のからだのつくり・はたらき・分類	動物のからだのつくり・はたらき・分類	細胞と個体の成り立ち 生殖と発生 遺伝	生物の特徴 遺伝子とその働き 生物の体内環境 バイオームの多様性と分布 生態系とその保全	生命現象と物質 生殖と発生 生物の環境応答	生体と環境 生物の進化と系統 [入試問題演習]
	地学分野	地表・地球内部のつくりと その変化	天気とその変化	地球と宇宙 (生物分野・地学分野総合) 自然と人間			

理論を理解し音楽を楽しむことによって、感性を磨きます

中高完全一貫体制を生かし、まず中学校の3年間で全員が総合的な音楽の基礎をしっかりと学びます。その後選択制となる高校で、中学校で得た知識をもとに、より深い理解と感受性豊かな表現を目指した指導をします。

中学校では、歌唱・器楽・鑑賞・理論の4分野を満遍なく学べるようにカリキュラムを組んでいます。歌唱では独唱や重唱、合唱を通して、正しい発声・発音で歌うことだけでなく、曲や歌詞の内容も理解できるよう指導しています。器楽ではアルトリコーダーを取り入れ、主に二重奏で世界の名曲を多数練習することにより、読譜力・表現力を身につけていきます。鑑賞では、教科書の鑑賞曲だけでなく、バロック・古典派・ロマン派・近現代における大作曲家の作品に触れます。理論では、全員が楽譜を読めるようになることを目標に、楽譜の書き方・音の名前・音階・音程・和音・音楽用語などの基礎理論を1・2年生で学んでいきます。学校行事として中学校卒業間近に行われる合唱コンクールでは、生徒たちがそれぞれに身につけたすべてを注いで、課題曲・自由曲を歌い、8クラスが優勝を目指します。また、視聴覚教育の一環として、三年に一度の音楽鑑賞会があります。



高校では、歌唱・鑑賞を中心に、楽曲の把握と創造に重点をおいた指導をしていきます。歌唱では、幅広い分野の世界の名曲に原語で挑戦します。鑑賞では、ひとつの作品ごとに音楽史や様式に触れ、生徒たちにはその作品の背景や感想などについてレポートすることが求められます。

芸術は人間の一生において常に傍らにあるべきものです。中高6年間を通して、将来さらに音楽に興味をもったときに、気軽にアプローチできる姿勢と基礎知識を身につけさせることに努めています。

学年	前期		中期		後期			
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい楽譜の書き方を身につける。 ○基礎的な表現の技能を伸ばす。 ○音楽に興味、関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽曲のしくみを理解する。 ○楽曲の特徴をつかむ。 ○幅広い鑑賞の能力を高める。 ○音楽理論を総合的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱のよこごびを味わう。 ○音楽に対する総合的な理解を深め、表現の技能を伸ばし、創造的な表現の能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発声の基本を学び工夫する。 ○世界の音楽に親しみ、歴史の流れをつかむ。 ○音楽様式と変遷を鑑賞を通して学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○声域の拡張と表現の工夫をする。 ○芸術歌曲を理解する。 ○音楽様式と変遷を鑑賞を通して学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想に応じた発声を工夫する。 ○文化的背景と音楽を関連させて理解する。 		
内容及び方法	歌唱		<ul style="list-style-type: none"> ○正しい呼吸法、正しい発声を身につけ、ことばを大切に、きれいな発声で歌う。 ○移動口唱法による階名唱を十分行うことで、音程とリズムを正確に歌えるようにする。 ○合唱で、ハーモニーの美しさを味わい、協力して音楽を作り上げていくよこごびを感じとる。 		<p>中学3年間では総合的に学習したが、選択となる高校では、歌唱・鑑賞を中心に、楽曲の把握と創造に重点をおいた指導をする。</p> <p>(歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○古典歌曲からミュージカルまで、世界各国の楽曲について、年代・作詞者・作曲者・音楽形式などを理解して歌う。 ○原語による歌唱も含め、個性溢れる豊かな表現の工夫をする。 <p>(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽史にそって、演奏形態・楽曲の種類だけでなく、楽曲形式まで踏み込んで、曲を理解して聴く。 ○ミュージカルや映画音楽、総合舞台芸術としてオペラ・バレエを取り上げる。 ○各分野の世界的演奏家に親しむ。 			
	器楽		<ul style="list-style-type: none"> ○4つの奏法(ノンレガート・レガート・スタカート・ホルタート)を学ぶことで、楽譜の読み方の徹底と、曲にふさわしい表現を工夫する力を育てる。 ○重奏で、メロディーの重なり、ハーモニーの美しさを感じとる。 					
	鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> ○音楽史に簡単に触れ、楽曲の形式・楽器や声の組み合わせによる響きを理解して聴く。 ○他教科(地理・歴史・美術など)と関連させた総合学習に発展させる。 					
	楽典		<ul style="list-style-type: none"> ○正しい楽譜の書き方・読み方を徹底させる。 ○3年間で楽典の基礎を学ぶ(音名・階名・音階・和音・移調など)。 ○理論に偏らず、実技や鑑賞との関わりの中で、理解できるようにする。 					

創る楽しさ、鑑賞する楽しさを通して自己を発見する時間

実技指導の特徴としては、古典的技法とコンピュータによる演習という両極端な方法を体験させ、比較対照しながらも統合的に扱っている点にあります。

上手・下手という偏狭な価値観で捉えるのではなく、自分らしさを生かし、自己を探す時間ですから、生徒がゆったり考えて作業ができるようにするため、課題の提出数は極力減らし、創作の過程を重要視しています。そのため一つの課題制作にあたって、関連する情報を本校独自のマルチメディアを使って豊富に提示したり、近隣の美術館での鑑賞時間を設けたりし、生徒の意欲を引き出す仕掛けをできるだけ多く用意しています。

美術の時間を通して、目に見えない感覚(誰もが解き切れずもどかしく感じている個人的心象)を目に見える形に置き換える純粋な意志がはたらくよう、何らかのきっかけや道標になることを願っています。



多様な種目を通して、生涯スポーツの基礎を身に付けていきます

本校では、バレーボールとダンスを中高一貫の教材として扱っています。

バレーボールは、中学1年生でボールに慣れ親しむことから始め、3年生になるまでにパスやサーブの基本動作を身につけ、簡易ルールでゲームができることを目標としています。3年生は6人制のルールでゲームをしながら、個々の役割を理解し、互いに協力して楽しむことをねらいとしています。高校からはボールのサイズが変わるため、1年生は基本技術の習得に重点を置き、2年生では、グループ別学習を取り入れながらスパイクの練習を中心に授業を行います。3年生は、6年間のまとめとして、クラス内でチームを作り、自主的に練習を計画してリーグ戦を行います。審判も生徒同士で行い、公平にかつ安全に運動を楽しむことを目標としています。

ダンスは、小学校で創作ダンスに触れるチャンスがなかった生徒が9割以上いるため、中学1年生で時間をかけ、ダンスの基本的な動きや作り方を学びます。中学2年生から高校1年生までは、学年に応じたテーマからグループごとに題材を選び、発表場所である舞台空間を考えたドラマチックな作品を完成させることを目標とします。とくに高校1年では、各クラス優秀作品を集めた発表会を共立講堂で行っています。高校2年生は、中学1年から高校1年までの基本技能をもとに、体



育祭で発表するダンスを作り上げ、躍動的な集団演技を展開します。3年生では体育祭に向かって、6年間で学んだ技能を生かし、更に技術的に難易度の高い「荒城の月」の曲を用いたダンスを学び、感情移入も含め、集団演技として美しく幻想的なダンスに仕上げることが目標としています。

その他に中学ではバスケットボール、フットサル、剣道、マット運動など、高校ではソフトボール、バドミントン、卓球、ハンドボール、テニス、剣道などを授業の中に取り入れています。また運動会や各種のスポーツ大会などの体育行事にも力を入れています。中高共に生徒が幅広く運動に親しみ、体力を高め、生涯スポーツの基礎を身につけさせることを目指しています。

保健では、日常生活と関連させて心身の発達や環境問題・疾病の現状・健康と生活について学び、生涯にわたって健康を意識して生活できる力を育てることに重点を置いています。

学年	STEP1(基礎・前期)		STEP2(練成・中期)		STEP3(完成・後期)	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	○幅広い表現及び鑑賞の講義・実技(技法)指導を重ねることで、造形能力を高めるとともに、知性と感性の統合を図り、美術に対する広い視野での見識・能動的な姿勢がもてる豊かな情操を養う。		○観察・想定などを行い、自然物・人工物に対する関心や探求心を高め、創造する能力と態度を育てるとともに、基本的な美術史を理解させ、幅広い芸術観を育成する。			
内容及び方法	○色彩について(基礎色彩論) ○頭蓋骨のある静物画(絵画古典技法演習)	○CDジャケットのデザイン(CG演習)	○西洋美術史概説(バロック～現代)	○油彩画の概説(顔料と溶き油、基底材) ○石膏胸像(P10号・油彩)	○私のすまい(CG演習) ○美術館見学(東京国立近代美術館) ○抽象的ドローイング	○石膏デッサン(木炭デッサン) ○美術館見学(ブリヂストン美術館)
	○合成生物と私(CG演習) ○美術館見学(東京国立近代美術館) ○自刻像(塑像演習)	○想定自画像(絵画混合技法演習) ○美術館見学(東京国立近代美術館) ○西洋美術史概説(原始時代～ルネサンス)	○模写(西洋絵画技法演習) ○パズルゲームのデザイン(CG演習)	○写真を基にした自画像(CG演習) ○バロック風(光と影の表現による)自画像(P10号・油彩) ○漫画・劇画表現(CG演習)	○抽象絵画(CG演習) ○抽象絵画(F20号・油彩)	○理想的他者の肖像(S10号・油彩)

学年	前期		中期		後期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	○運動に自主的に取り組み、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにし、生活を明るく健全にする態度を育てる。	○運動を適切に行うことによって、強健な身体を育てるとともに、強い意志を養い、体力の向上を図る。	○運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度を育て、規則を守り、互いに協力して責任を果たす態度を育てる。	○自分の能力に応じた目標を立て、運動の基本技術を学ぶとともに行動の基本的態度を育てる。	○自主的な活動を通じ、心身の発達をはかるとともに、より美しく、しなやかな身体を育てる。	○スポーツ科学を学び、自主的な行動を進展させ、体育・スポーツ活動の生活化につながる技能や態度を育てる。
	○心身の発達や心の健康について理解させ、将来にわたって健康を保持増進することができる能力と態度を育てる。	○健康と環境の関わり及び傷害の防止についての理解を深め、応急処置の基本的技能を習得させる。	○疾病の現状・予防及び健康と生活について理解を深めさせ、個々の生活と関連づけて学ばせる。	○個人及び社会生活における健康・安全について理解させるため、健康を生活行動の様々な側面から関連づけて学ばせる。	○生涯にわたっての健康を、自己の健康と社会生活における集団の健康の両面から学ばせ、社会問題として捉えさせる。	
科目(は時間数)	体育(2.5) 保健(0.5)	体育(2.5) 保健(0.5)	体育(2.5) 保健(0.5)	体育(2) 保健(1)	体育(2) 保健(1)	体育(3)
	○バレーボール ○ダンス(含創作) ○集団行動の基本動作 ○体操 ○バスケットボール ○フットサル ○マット運動 ○運動会種目練習	○バレーボール ○ダンス(含創作) ○バスケットボール ○フットサル ○マット運動 ○運動会種目練習	○バレーボール ○ダンス(含創作) ○バスケットボール ○剣道 ○マット運動 ○運動会種目練習	○バレーボール ○創作ダンス(学年発表会実施) ○ソフトボール ○剣道 ○新体操 ○ボール運動	○バレーボール ○ダンス(体育祭発表) ○ハンドボール ○バスケットボール ○新体操 ○ボール運動	○バレーボール ○ダンス(体育祭発表) ○テニス ○バドミントン ○卓球 ○新体操
内容	○心身の発達と心の健康 ○健康と環境	○健康と環境 ○傷害の防止	○健康な生活と病気の予防	○現代社会と健康	○生涯を通じる健康 ○社会生活と健康	

身近な生活の中での工夫する力・創造する力を培っていきます

技術・家庭、家庭の授業の意義と内容は、公立女子学園の歴史に深く関係しています。時代の進展に役立つ女性の育成を目的として教育活動を行っており、本教科では、実習するなかで自ら発信し行動する姿勢、自主性を尊重して進めています。

中学校では、私立女子校であるという特性を生かして、家庭分野に厚みを持たせた内容にしています。食物分野では栄養と健康の関連性を理解した後に、中学生が日常生活で実践可能な取り組みやすい内容の調理実習を行います。被服分野では被服の動きや生活上での身体の動きを理解した上で、スモック・パジャマなどの被服実習を行い、実生活と関連づけて理解を深めています。これらの実習を通して、身近な生活の中で工夫・創造する喜びや達成感・責任感を持ち、問題解決にあたる力を培っています。被服実習で完成した作品は、調理実習時や修学旅行などの学校生活の中で活用し、生徒一人ひとりへの自信につなげています。

高校では、将来、家庭生活を主体的に管理・経営できるように、課題意識を持ち自ら解決していく力を身につけることを目標としています。中学での学習内容をさらに発展させ、より専門的な食物、被服、保育分野を扱い、実習や実践を多く取り入れた授業展開としています。食物では、和・洋・中の調理実習を中心として調理学や栄養学を



学び、被服では、浴衣などの製作から被服の構成を学んでいます。共同作業や作品の完成を通して、豊かな人間関係を築き、生徒自身が自己発見をしながら、自立した女性へと成長していけるような指導を心がけています。

学年	前期		中期		後期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	○生活に必要な技術を習得させ、生活と技術の関係を理解し、工夫創造する能力と実践的な態度を育てる。			○中学での学習内容をさらに発展させ、より専門的な食物、被服、保育分野を扱い、実習や実践を多く取り入れ学習する。 ○将来、家庭生活を主体的に管理・運営できるように、課題意識を持ち自ら解決していく力を身につけることを目標とする。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○被服の動き ○衣服の構成 ○布の性質 ○型紙の選択と補正 ○ミシンの扱い方 ○作業着(スモック)の製作 ○調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活と文化 ○栄養素の働き ○調理室の利用法と注意 ○食品の調理上の性質と調理方法 ○調理実習 ○休着(パジャマ)の製作 ○ロックミシンの扱い方 	<ul style="list-style-type: none"> ○休着(パジャマ)の完成 ○栄養素の働き ○食品の選択と調理 ○食品の調理上の性質と調理方法 ○調理実習 ○刺繍の種類と特徴 ○スエーデン刺繍と基本刺し ○刺繍による小作品の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ○人の一生と青年期の課題 ○家族・家庭と社会 ○高齢者の生活と福祉 ○共生社会 ○経済生活を設計する ○子どもと子育て ○生涯の健康を見通した食生活 ○調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ○衣生活をみつめる ○被服の材料、形、安全 ○衣服の計画と管理 ○被服製作 ○住生活野成り立ち ○家族の生活と住空間 ○健康で安全な住生活 ○住環境の実現 	<p>(選択食物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○五大栄養素 ○栄養所要量 ○カロリー計算 ○栄養状態の自己管理 ○食文化とマナー ○和洋中の基本および応用調理 ○献立作成 <p>(選択被服)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平面構成の基礎 ○被服製作(浴衣) ○浴衣の着装

心を形にして美しい振る舞いの女性に

中学では道徳の時間に、礼法の指導を3年間通じて2週間に1度、日常の授業として行っています。授業では学校創立以来、小笠原流礼法の形を基本として、落ち着いた自然で美しい振る舞いを身につけることを目的とした指導が行われています。

<各学年の内容>

1年生:「基本動作の習得」立礼、座礼での基本的な動きを練習しながらドアの開閉、コートや風呂敷の扱い、挨拶の言葉など日常生活での簡単な作法を学習していきます。

2年生:「日常生活での作法」1年生で学んだ基本動作をもとに椅子の作法、席順、食事作法、ふすまの開閉、座布団の扱い、テーブルマナーなど日常生活でのさまざまな作法の形を学習します。

3年生:「伝統的なしきたりとしての作法」拝礼の作法、訪問のマナー、贈り物の形と作法、いろいろな品物の受け渡しなど、社会人として人とお付き合いをしていくうえで大切な作法の形を学びます。

このように中学校3年間で、一人前の女性として身につけてほしい作法の形を、一つ一つ実際に体を動かしながら学んでいきます。そして高校では、1年生でのマナー講座、2年生での礼法授業で、より応用的な大人としてのマナーの形を学びます。



中学1年生のころはまだ動きも堅く、礼もぎこちないのですが、3年生になるころには落ち着いた自然で美しい振る舞いができるようになります。そして高校生になると精神的にもずっと大人になり、捉えかたも違ってきます。

中高6年間の精神的に大きく成長する時期に、きちんとした作法の形を学ぶことは心の発達にも大きく影響し、身についたきれいな礼は社会に出た時に大きな力となることと思います。また、日本の伝統ある美しいしぐさ、言葉、礼の形を学んでいくことによって、穏やかで豊かな心を育ててほしいと願っています。

学年	前期		中期		後期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	○家庭・学校・社会などで人間としてまもらなければならない心・考え方を養うとともに、現代の生活様式にあった礼儀正しい言語・動作・社会生活上の常識を身につける。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○礼儀作法について ○学校生活での心得 ○姿勢 ○立礼の基本 ○お弁当の食べ方 ○和室での作法 ○起居動作 ○歩き方 ○めぐり方 ○座礼の基本 ○電話の作法 ○みかんの食べ方 ○1年のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○行き違いの礼 ○前通りの礼 ○椅子の礼 ○室の席次 ○日常の食事マナー ○テーブルマナー ○襖・障子の開閉 ○座布団のすすめ方、座り方 ○品物の持ち方 ○お茶のすすめ方、受け方 ○接待の心得 ○2年のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○神仏の拝礼 ○室の出入り ○和食の作法 ○訪問の作法 ○品物の受け渡し ○手紙の作法 ○贈り物の形と作法 ○挨拶の言葉 ○賞状のいただき方 ○答辞の扱い方、読み方 ○3年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○マナー講座 ○中学で学んだことを日常に活用できるよう、いろいろな面からマナーについて考え、日常生活の身近なことから自分を見つめ直す機会となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○拝礼、贈答のマナー ○お茶のすすめ方 ○品物の受け渡し ○面接のマナー など 	

生徒の希望を大切に！生徒の数だけ道がある。

共立では、大学合格をゴールだとは考えていません。あくまでも「誠実・勤勉・友愛」の校訓のもと、社会の中で「時代を超えて翔ばたく女性」を育てることを目標としています。

昨今では、女性の活躍の場も広がり、生徒の志望も多様化しています。このような状況で、生徒一人ひとりがしっかりと自分を見つめ、社会に関心を持ち、偏差値やブランドだけにとらわれることなく進路を決めることを望んでいます。そしてその目標に向けて生徒が努力できるよう、教職員一同サポートしていきます。

○卒業生チューター

本校では放課後、大学・大学院に通う卒業生が進路指導室に待機しています。勉強の質問や進学の相談はもちろんのこと、学校生活の様々な悩み事について良き相談役となっています。



●主要大学への過去3年間の合格実績推移〔合格者数は現役生十浪人生、○囲みの数字は浪人生数〕

国・公立大学(大学校含む)	H30	H29	H28
H30			
北海道大学 2 筑波大学 1 千葉大学 7①			
東京藝術大学 1 首都大学東京 2			
東京学芸大学 2 横浜国立大学 2			
群馬大学 2(医2) 信州大学 2			
奈良女子大学 1 新潟大学 1①			
国立看護大学校 1			
福島県立医科大学 1①(医)			
(卒業生数 313名)			
H29			
東京大学 1 一橋大学 1 東京工業大学 2			
北海道大学 1 筑波大学 4 千葉大学 2①			
東京藝術大学 1 首都大学東京 5			
横浜国立大学 2 東京海洋大学 1			
九州大学 1 山梨大学 1 埼玉県立大学 1			
防衛大学校 1 防衛医科大学校 1			
国立看護大学校 1			
(卒業生数 309名)			
H28			
東京大学 1 一橋大学 1 北海道大学 1			
東京農工大学 1 東京医科歯科大学 1			
東京海洋大学 1 筑波大学 5① 千葉大学 6①			
首都大学東京 3 お茶の水女子大学 1			
新潟大学 2① 神戸大学 1 鹿児島大学 1			
信州大学 1① 富山大学 1① 群馬大学 2			
国際教養大学 1 高崎経済大学 1			
前橋工科大学 1 水産大学校 1			
防衛医科大学校 1① 国立看護大学校 1①			
(卒業生数 314名)			

私立大学	H30	H29	H28
早稲田大学	34①	61⑦	66③
慶應義塾大学	17①	22	29①
上智大学	43①	43	29③
国際基督教大学(ICU)	1	1	3
東京理科大学	40⑥	37	32④
学習院大学	15①	25①	24①
明治大学	55	72①	90②
青山学院大学	24②	28	37①
立教大学	61②	67②	90
中央大学	19	26	23
法政大学	33①	44④	47
津田塾大学	14②	18①	10
東京女子大学	41①	39	39
日本女子大学	65③	45①	51
成蹊大学	11	10①	16
成城大学	6①	20①	19
私立大学	H30	H29	H28
明治学院大学	15	8①	31
國學院大学	5①	3①	3
北里大学	12	11	15①
順天堂大学	1	6②	6
東京医科大学	2	2	2
聖路加国際大学	3	4	2
東邦大学	11	11	7
星薬科大学	9	4	4
東京農業大学	13③	6	2
東京電機大学	3	4②	5
芝浦工業大学	25②	17	5
昭和大学	4①	3①	2①
東京音楽大学	1	1	1
多摩美術大学	6	6	11
武蔵野美術大学	6	0	0
卒業生数	313	314	289



●主な指定校推薦の大学と人数

早稲田大学	文化構想 1名	文 1名	法 1名	商 1名	人間科学 1名	基幹理工 1名	先進理工 1名	慶應義塾大学	法 1名	商 2名	薬 1名	理工 1名	工学 1名	理 1部	経営 2名	基礎工 1名	理 2部 3名	国際基督教大学	教養 1名	上智大学	総合人間科学 1名	明治大学	文 1名	理 1名	総合数理 1名	立教大学	経 1名	法 1名	現代心理 1名	観 1名	光 1名	コミュニティ 1名
青山学院大学	理 1名	工 1名	総合文化政策 1名	経営 1名	中央大学	商 1名	文 1名	理工 1名	法政大学	情報科学 1名	理 1名	工学 1名	学習院大学	経 1名	文 2名	理 4名	学芸 3名	現代教養 3名	人間社会 1名	理 1名	業 2名	看護 1名	医 2名	歯 1名	歯 1名	松戸歯 1名	法 1名	理 2名	工 2名	生命歯 1名	新潟生命歯 1名	看護 1名
津田塾大学	学芸 3名	東京女子大学	現代教養 3名	日本女子大学	人間社会 1名	北里大学	業 2名	看護 1名	昭和大学	歯 1名	東京歯科大学	歯 1名	日本大学	松戸歯 1名	法 1名	理 2名	工 2名	生命歯 1名	新潟生命歯 1名	看護 1名												

●医学部医学科合格実績

近年、理系コース選択者も増加しており、中でも医学部医学科への志望が高まっています。

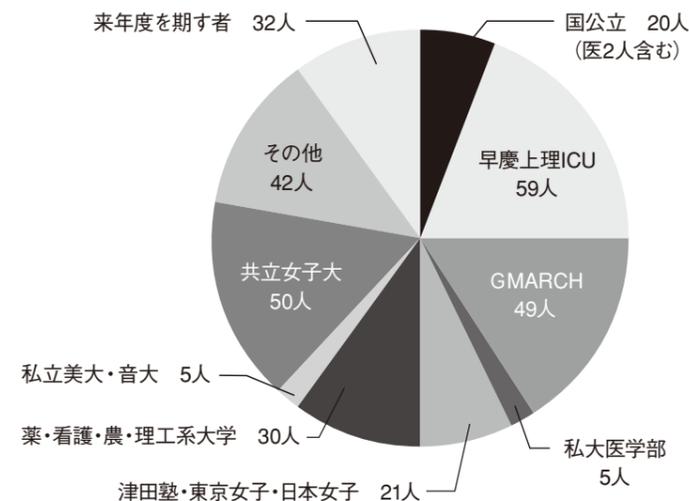
(国公立)	群馬大学 2	福島県立医科大学 1①	(私立)	自治医科大学 1①	北里大学 2	東京女子医科大学 1	昭和大学 2①	杏林大学 1①	愛知医科大学 1	埼玉医科大学 1①	聖マリアンナ医科大学 1①
-------	--------	-------------	------	-----------	--------	------------	---------	---------	----------	-----------	---------------

(合格者数は現役生十浪人生、○囲みの数字は浪人生数)

●現役生の進路 (313人)

外部大学の進学に関しては「難関校」に現役で入学する生徒も多く、その比率は約50%になります。

(難関5私大・・・早稲田・慶應・上智・ICU・東京理科大学
GMARCH・・・学習院・明治・青学・立教・中央・法政
業・看護・農・理工系大学・・・北里・聖路加・東京農大・芝浦工大・星薬科等)

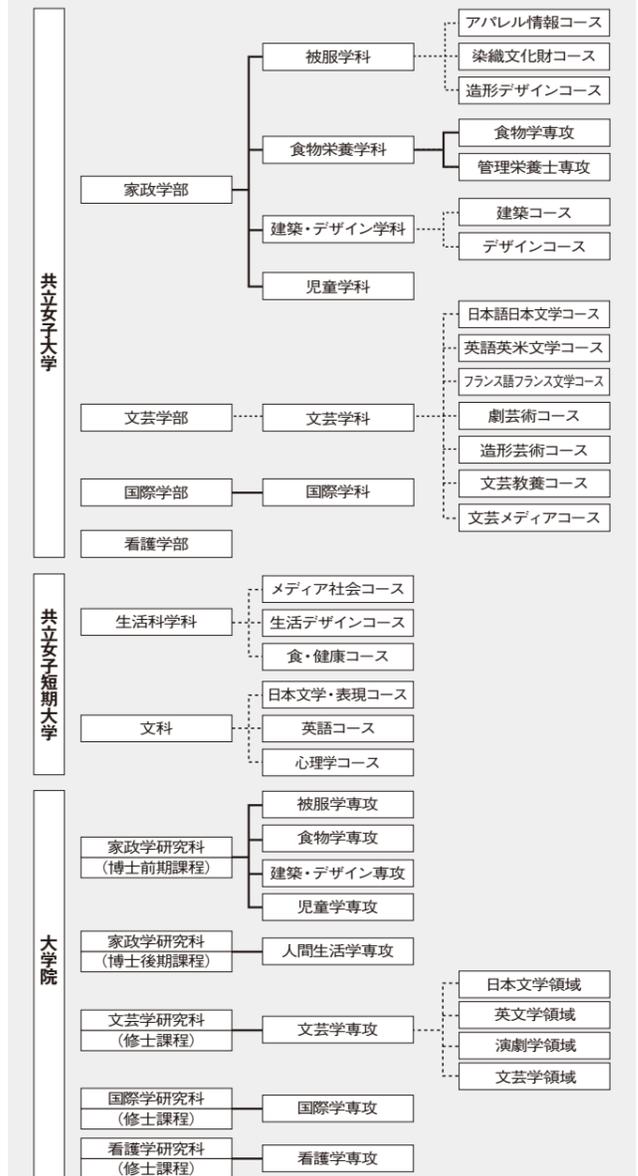


KYORITSU WOMEN'S UNIVERSITY [共立女子大学]



共立女子大学は社会のニーズに対応し、有能で自立した女性を輩出してきました。短期大学には生活科学科、文科、大学には家政学部、文芸学部、国際学部、看護学部の4学部と大学院を備える高度な教育体制を神田一ツ橋キャンパスに整えています。

時代の要請に応え「自立と共生」「情報化」「国際化」を推進する大学の教育姿勢は、多くの企業からも社会からも高い評価を獲得し、卒業生の多くがビジネスや文化の第一線で活躍しています。



●共立女子大学・短期大学への進学状況

本校は共立女子大学の併設校として優遇措置があり、今年度は約15%の生徒が同じ神田一ツ橋キャンパス内にある大学へ進学しています。

【ランゲージスクエア】

日本語以外の語学を実践的に学ぶ場所として、また、異文化理解や国際交流を視野に入れた国際色豊かな部屋として「ランゲージスクエア」を開設しました。外国人講師が常駐し、授業や放課後の活動に利用します。気軽にランゲージスクエアを訪れ、英語をはじめとする外国語により慣れ親しみ、進んで学習に取り組める環境となっています。

外国人講師とのコミュニケーションを通して、英語で自分をリアルタイムに表現する練習ができます。また、季節毎に企画される行事（イースターやクリスマス）に参加したり、洋書や海外の新聞を閲覧したり、海外のニュースや映画、ドラマ、音楽を視聴したりすることを通して、世界観を広げ、外国の文化や知識を得ることができます。グローバルな世界にはばたく共立生の充実した空間になっています。

【オンライン英会話】(中学全員・高校希望者)

自宅のパソコン、タブレットを利用した「オンライン英会話」を導入しています。英語によるコミュニケーションを重視する時勢において、ネイティブとの会話に抵抗感を少なくすること、授業以外にも「話す」「聞く」機会を増やすことが目的で、1対1でのレッスンを長期休暇中の課題や授業に関連した機会に受講できるよう契約しています（1回25分 1年生10回、2・3年生30回）。チケットをさらに購入すれば、年間契約回数を越えて利用することもできます。

【イングリッシュシャワー】(中1~3希望者)

イングリッシュシャワーは、長期休暇を利用して、校内で英語漬けの2~3日間を過ごすグローバル教育プログラムです。高校で行われている海外研修を念頭に、海外の文化や風習を紹介してもらうほか、「発表」に力点を置いた英語での授業を行います。発音の特訓・自己紹介の要領・質問のしかた・会話の進め方・意見の発表の仕方のコツなどをゲームやDVD視聴を交えながら、楽しく効果的に教えてくれるため、学年の過半数が参加するほどの人気企画です。

【英字新聞プロジェクト】(中3~高2希望者)

本校の魅力と地域の紹介を目的とした英字新聞「Kyoritsu Times」を作成しています。このプログラムは、日本の英字新聞の代名詞とも言える Japan Times が企画した、グローバル人材育成を目的とした教育プログラムです。完成までに、「新聞の書き方」「取材の仕方」「英文記事のおこし方」「構成の仕方」など様々な講座が用意されています。新聞作成の過程で、思考力・判断力・表現力・社会性を身につけます。また、チーム活動を通して、コミュニケーション能力や協調性、行動力を育みます。生活に英語を取り入れ、積極的に英語を使う活動です。

【模擬国連】(中2~高2希望者)

グローバル・クラスルーム日本委員会が主催する「全日本高校模擬国連」に参加しています。模擬国連とは、高校生がある国の大使として、実際の国連会議のようなプレゼンテーションやディスカッションをする活動です。担当する国や与えられたテーマについて研究・調査し、担当国の国益を考えながら、国際社会の諸問題を解決していきます。練習会を経て予選にエントリーし、11月に行われる全国決勝大会に向けて充実した取り組みを行っております。英語の力はもちろん、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力が身につきます。



少人数でネイティブ講師と交流(イングリッシュシャワー)



生徒編集の英字新聞「Kyoritsu Times」

【ニュージーランド ターム留学】(高1希望者)

1月末から4月上旬までの約9週間、ニュージーランド北島の都市 New Plymouth にある Sacred Heart Girls' College へのターム留学を実施しています。Sacred Heart Girls' Collegeは1880年代に建てられた修道院附属学校を前衛とし、「Whatever you do, do to the best of your ability.」をモットーに生徒の個々の能力を引き出す質の高い教育を提供する名門女子校です。この制度により共立生がこれまで以上に国際的な視野を広げると同時に、これからの国際社会で活躍できるきっかけになればと大いに期待しています。

【海外研修】

本校では、他校に先駆け1969年から本校教員引率のもと、夏休みを利用した海外での語学研修を実施しています。現在はカナダとニュージーランドの2コースで実施し、いずれもホームステイを行い、現地の家族と生活を共にします。海外での生活を体験しながら、英語を学び、見識を広げるプログラムとなっています。

英語を母語とする国に滞在し、気候や風土、文化、風俗、生活習慣などの共通点や相違点を認識しながら英語を学ぶ体験は、貴重な財産となります。

●カナダ語学研修(高1・2希望者)

7月~8月中旬にかけての19日間、トロント近郊のハミルトンで、現地のホストファミリー宅に滞在しながら、語学研修や地元での諸活動に参加します。

※午前中はネイティブのESLによる英語レッスン、午後にはナイアガラ観光など様々なアクティビティが用意されています。

■参加生徒数 約20名 ■参加費 約¥650,000

●ニュージーランド語学研修(高1・2希望者)

7月~8月中旬にかけての18日間、クライストチャーチでホームステイをしながら、姉妹校のSt.Margaret's Collegeで語学研修を行います。

※帰国前には参加者全員でオークランド観光も行います。

■参加生徒数 約20名 ■参加費 約¥600,000

●春休みオーストラリア語学研修(中3・高1希望者)

春季休暇中に約10日間行われる株式会社留学ジャーナル主催の共立女子専用プログラムです。研修地はオーストラリア・パースで、夏季休暇中に行われる夏季海外研修と同様に、ホームステイにより現地の生活に密着し、英語研修と現地校での体験授業に参加します。その他にも観光や現地の大学訪問、動物園訪問など充実した楽しいアクティビティが用意されています。

■参加生徒数 約20名 ■参加費 約¥450,000

【中国語・フランス語】

中高共通の自由参加型の課外講座として、週1回「中国語会話講座」を開設しています(テキスト代2,500円程度)。

また、高校2年・3年次の選択授業として「中国語」「フランス語」が第2外国語として選択でき、世界に向けた広い視野を養っています。

【ブリティッシュヒルズ宿泊研修】(高1全員)

中学で培った英語コミュニケーション能力を更に育成するため、高校1年次6月に福島県にある英語教育研修施設ブリティッシュヒルズで2泊3日を過ごします。中世の英国を模した素敵なお庭園を歩き来して、英語の4技能を駆使しながらスコーン作りやモノポリゲームなど楽しい講座にも参加し、最終的にはディスカッションも行います。施設にあるパブやキャンディーショップなどでの英会話も生徒は楽しみにしています。



ターム留学先の Sacred Heart Girls' College



カナダ語学研修のアクティビティ(カヤック)

【補習・補講】

「基礎コース」としての「補習」は、指名生徒と希望者を対象としており、英語・数学・国語を中心に行います。わかるまで丁寧に講義・追試を繰り返すことで、定期試験や普段の小テストなどの不振者をそのままにしないよう心がけています。

また授業内容をより深く掘り下げたり、授業外の範囲・分野まで扱う「発展コース」の「補講」は、成績上位者や意欲のある生徒を対象として指定曜日の放課後に行います。定期試験を目安として1年を数期に区分し、その期間ごとに日程と内容・担当者・教室などを発表して、参加者を募っています。

【長期休暇講座】

●中学夏季講座

中学2年生、3年生を対象に前期5日間(7月下旬)、国・数・英の3教科(基礎と発展から選択)と理科実験の講座が開かれます(中学1年生は研修旅行期間のため、ありません)。参加は自由ですが、例年のべ1000名以上が受講する人気の企画です(1講座:1,000円)。

■前期1限(8:30～10:20)

対象学年	タイトル
2年	国語基礎
	国語発展
	英語基礎
	数学基礎
	数学発展

■前期2限(10:40～12:30)

対象学年	タイトル	対象学年	タイトル	対象学年	タイトル	対象学年	タイトル
2年	国語基礎	3年	国語基礎	2年	国語基礎	3年	国語基礎
	国語発展		英語基礎		国語発展		
	英語基礎		英語発展		数学基礎		
	数学基礎		数学基礎		数学発展		
	数学発展		英語基礎		英語発展		
	英語発展	2・3年	理科実験				

●高校夏季講座

前・後期(7月下旬・8月下旬)の各5日間にわたって様々な講座を開きます。いわゆる補習講座や、受験対策講座のみならず、普段学校の授業ではなかなか扱うことができない分野や教養講座まで、その内容は多種多様にわたり、ユニークな講座も数多く設けられています。共立女子大学の先生や外国人講師による講座もあります。

参加は任意で、複数の講座を受講することができます(1講座1,000円)。昨年度はのべ約1,100名が受講しました。

■前期1限(8:30～10:20)

教科	対象学年	グレード	タイトル
国語	不問	不問	漢文 句法の整理
	1年	初級	文語用言と古文基本語彙の復習
	2年	初中級	現代文キーワードで読み解けること
	2,3年	初中級	GMARCH現代文
数学	1年	初級	IAセンターから学ぶ超基礎数学
	2年	上級	理系 最上位の大学受験数学(数学III利用者)
	3年	上級	HYPER MATHEMATICS
英語	1年	上級	英文法のトレーニング(応用編)
	不問	不問	TEAP対策講座
社会	2,3年	中上級	同時代のつながる世界史 ～あの日あの時、こは?あそこは?～
	2,3年	中級	高校生の未知なる現代史への挑戦①～WWⅠから戦前期～
	3年	初級	先取り 戦後史
理科	1年	中上級	高校1年生対象微積分で考える力学と実験から理解する物理
	2,3年	中級	スタンダード化学演習Ⅰ
	3年	不問	生物演習 DNAの複製・DNAから形質発現までの流れ・遺伝子組換え等
	3年	中上級	力学完全マスター(物理)

■前期2限(10:40～12:30)

教科	対象学年	グレード	タイトル
国語	1年	上級	文語助動詞の知識を用いた古文演習
	2年	中級	小論文を書く。
	2,3年	中上級	古文 細かい知識詰め合わせ
数学	1年	上級	2変数関数と通範囲
	1年	中上級	微積分の基礎から応用
	2年	中級	目指せベクトルマスター!
	3年	初中級	BASIC MATHEMATICS
	1年	初中級	英文法のトレーニング(基本編)
英語	1年	初中級	英文法のトレーニング(基本編)
	3年	中上級	GMARCH入試問題演習
	不問	不問	早慶への世界史～夏の陣～
社会	2,3年	不問	日本史(文化史総まとめ)
	2,3年	中級	高校生の未知なる現代史への挑戦②～WWⅡから冷戦期～
	3年	不問	センター試験の地理
	2年	上級	0から学ぶ波動
理科	2,3年	不問	医療・看護系の演習
	3年	中級	理科大レベル物理
	3年	上級	ハイレベル化学演習
礼法	不問	不問	浴衣の着付けと着物のマナー
文芸学部	不問	初級	高校生のためのフランス語入門
国際学部	不問	不問	国際社会を見る眼

■前期3限(13:20～15:10)

教科	対象学年	グレード	タイトル
国語	3年	中上級	古典 大学過去問演習
英語	3年	中級	センター英語
社会	3年	初中級	センター日本史B 夏の陣～栄光の満点を目指して～
	3年	上級	世界史への讃歌～論述の鼓動
理科	3年	上級	高分子化合物
	3年	不問	化学実験 大好き!

■後期1限(8:30～10:20)

教科	対象学年	グレード	タイトル
国語	1,2年	中上級	助動詞を中心とした説話読解(夢の話)
	2,3年	不問	センター国語を読む!
数学	1年	不問	平面も空間もベクトル大好き
	2年	初中級	数学III(初級～中級)
	2年	中級	数学IIIの微積分の計算 マスターできた?
	3年	中上級	CENTER MATHEMATICS IA
英語	1～3年	難関校レベル	難関校の英文文(基礎準備)
英語	2,3年	不問	TEAP(Test of English for Academic Purposes) OVERVIEW
英語	不問	不問	TEAP対策講座
社会	2,3年	中上級	テーマで究める世界史～国ごと、人ごと、できごと、見事!～
	2,3年	上級	Scottin' On Hard History ～5つの世界的論述風講座
理科	3年	中級	スタンダード化学演習Ⅰ

■後期2限(10:40～12:30)

教科	対象学年	グレード	タイトル
国語	2,3年	中上級	GMARCH古文演習
数学	1年	上級	入試問題の経験値を上げる講座!
	2年	上級	最上級の数学に触れて11月のコース選択を決めよう
	3年	中上級	CENTER MATHEMATICS IIB
英語	2年	中級	Practical Writing
	2,3年	不問	TEAP(Test of English for Academic Purposes) OVERVIEW
社会	2,3年	中級	ええとどど中国史
理科	1,2年	初級	生物の世界
	2年	中級	物理の理科大レベル問題演習
	3年	中級	東大物理に挑戦!～3ステップ解法で解こう!～
	3年	初中級	なしおの化学計算 解法の整理!

■後期3限(13:20～15:10)

教科	対象学年	グレード	タイトル
国語	3年	中上級	難関私大の現代文
社会	3年	中級	高校生の未知なる現代史への挑戦③～冷戦期の各国史～
理科	3年	中級	飽きるほどセンター!
	3年	中級	有機・無機演習

●中高冬季講習

12月の冬季休暇中に設定される講座です。高校3年生向けの受験対策が主ですが、苦手科目克服から小論文まで多様な講座を用意しています。

Q&A

Q1 中高一貫校ということで、授業進度は速く進むのでしょうか。

A1 国語・数学・英語などの基幹教科については、6年間の履修内容を基本的に高校2年生までに終わらせるカリキュラムとなります。当然進度は速くなりますが、その分の授業時間数は確保されていますので、授業を大切にさえすれば、充分に対応できるはずですよ。

Q2 中学から高校への進学の見方はどのようになっていますか。

A2 学習・成績・生活面で顕著な問題がない場合に、入学が許可されます。中高6年一貫校なので、中学から高校に進学することが前提となります。

Q3 少人数制や習熟度別授業編成は行われていますか。

A3 英語や英会話の授業は、中学1年次より少人数のクラス編成で実施されます。さらに生徒一人ひとりの理解度や状況に合わせ、英・数・国では中学1～3年次になるまでの間に、それぞれ少人数習熟度別授業を開始し、よりきめ細かな指導を行うことで、効果をあげています。英会話では中学1年次より、準2級程度の英語力をもつ希望者には「取り出し」授業を行っています。

Q4 日常的に実施されている補習や補講はありますか。

A4 中学でも高校でも、部活動を入れない曜日を設けて毎週実施しています。基本的に「補講」は任意参加で発展的な内容を、「補習」は指名制で基礎的な内容を扱っています。

Q5 長期休暇中に開設される授業や講座はありますか。

A5 夏季講座を中高ともに1講座1,000円で開講しています。中学2・3年生は前期5日間の開講で、参加は自由ですが、29年度は約8割の生徒が受講しました。英・数・国(基本コース・発展コース)と理科実験講座を用意し、2科目まで自由に選択できる形式を取ります。高校では前期・後期の計10日間で実施し、補講や受験対応講座のみならず、ゆかたの着付けなど教養的なものや共立女子大学の先生による講座も含めて、50以上の講座が開講されます。

また、冬季講習や外部講師によるイングリッシュジャーナルなどの英語講座も開設しています。詳しくは、P19・21をご覧ください。

Q6 塾・予備校には、どれくらいの生徒が通っていますか。

A6 中学生は小学校時代からの延長で、通塾が安心感に結びついているケースもあるようですが、あくまで少数です。進度もある程度速いので、まずは学校の授業の予習と復習をしっかりと行うよう指導しています。高校2年生以降は通塾者が増えますが、学校の勉強だけでも大学受験に対応できる体制を整えています。

Q7 共立での「総合的な学習の時間」への取り組みはどのようになっていますか。

A7 広い意味のキャリア教育の一部と位置づけ、中学では学年ごとに「個人と集団とのかわり」「自分の個性」「職業や進路選択」をテーマに学習します。時間割の中には組み込まず、課題に対して自主的な計画による研究を行います。

高校ではキャリア教育の一貫として、中学の学習内容をさらに発展させる形で「表現力育成プログラム」「自己啓発プログラム」を実施しています。

Q8 英検・漢検などの対策や指導はしていますか。

A8 本校は英検の準会場に登録されているので、1次試験(筆記試験)は本校で受験することができます。英語科でも積極的に動めており、中学卒業時には準2級以上を取得できるよう指導しています。

また漢検も準会場として校内での受験機会を設けています。国語科の漢字テストに漢検テキストを用いていることや対策プリントを配布していることもあって、高校1年修了時にはほとんどの生徒が準2級以上を取得しており、毎年漢検協会より表彰を受けています。

Q9 父親の転勤で地方、あるいは海外の学校に転校した後、再び戻ってきた場合に、復学はできますか。

A9 中学1年の研修旅行(7月)まで在籍していた場合、国内外を問わず再入学は可能です。ただし転学(退学)後2年以内で、高校1年の8月までに戻ることが条件となります。

Q10 在学中に海外留学することはできますか。

A10 中学では在籍しながら留学は認めていません。高校では、一般的には休学留学ですが、進級留学もあります。進級留学は、成績などの一定の条件と、帰国後の試験によって、留学先での履修を本校における履修とみなし、単位の修得を認定して、進級した学年に復学できる制度です。なお、高1のニュージーランドへのターム留学の場合は公欠扱いとなります。

Q11 共立女子大学の受験と外部大学の受験との関係はどのようになっていますか。

A11 本校の特色は「進路の自由と安定」です。共立女子大学を受験する際には様々な優遇措置があります。他大学を併願できる制度もあります。例年、多くの生徒が合格していますが、実際、共立女子大に進学したのは、29年度で約15%でした。詳しくは、P18をご覧ください。

Q12 大学受験の指導はどのように行われているのですか。

A12 自分の進路は自分で決めることを基本に、適性や将来像を真剣に考える機会を沢山設けています。とくに高校2年からは、進路に応じてコースや科目が選択できる合理的なカリキュラムと指導体制のもと、現役で合格できる充分な学力の伸長が可能です。



【生活時間】

予 鈴	8:05
ホームルーム	8:15 ~ 8:25
1 時 限	8:35 ~ 9:25
2 時 限	9:35 ~ 10:25
3 時 限	10:35 ~ 11:25
4 時 限	11:35 ~ 12:25
予 鈴	13:05
5 時 限	13:15 ~ 14:05
6 時 限	14:15 ~ 15:05
終礼	(月)~(金) (土) 15:10 ~ 15:15 12:30 ~ 12:35
清掃	(月)~(金) (土) 15:15 ~ 15:35 12:35 ~ 12:55
下 校	17:30
完全下校	17:45



【制服】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
冬服						冬服					
夏服						夏服					

中学
冬服：セーラー上下(濃紺)・ネクタイ(白)・ソックス(白・三つ折)
ストッキング(黒)
夏服：セーラー(白)・ネクタイ(青)・スカート(濃紺)
ソックス(白・三つ折)

高校(H30年度～)
冬服：ブラウス(パープルピンク)・ブレザー(濃紺)
ネクタイ(青チェック)・スカート(濃紺)・ハイソックス(紺)
夏服：半袖ブラウス(パープルピンク)・スカート(濃紺)
ハイソックス(紺)
※オプションとしてベスト(白)・スカート(チェック)

【教職員データ】

専任教諭 105 (男55・女50 平均年齢43歳)		職員	
国語科	16	芸術科	5
社会科	13	外国語科	24
数学科	18	技術家庭科	5
理科	11	養護教諭	3
体育科	9	司書教諭	1
		事務	8
		カウンセラー	2
		図書館司書	1
		校医	1
		助手	5

講師 64 (男15・女49)



中学・高校時代は、友人や家族との関係、勉強のことなど、戸惑うことやなかなか話にくいが増える時期です。また、体調不良や病気・けが等、身体上の悩みを抱える場合もあります。

本校では生徒が充実した学校生活を送れることはもちろんのこと、保護者の方々にも安心して頂けるよう、担任、副担任、学年主任という学年団や、部活動顧問、教科担当者以外にも、さまざまな場所で相談体制を用意しています。

【保健室】

中学、高校で2室あり、3名の専任養護教諭で担当しています。

また、保健委員会を通じて「保健だより」も発行しており、その時に話題になっている健康情報や季節に合わせた内容を生徒に向けて発信しています。

【カウンセリング室】

毎週火・木・土曜日に女性カウンセラー2名が交代で待機しています。悩みの相談はもちろんのこと、気分転換や休息の場としても利用できます。

なお、お子様のことについて保護者の方からの相談も受け付けています。

【学校医】

第2、3、4週の木曜日の休み時間・昼休み・放課後に相談することができます。

【よろず悩み相談室】

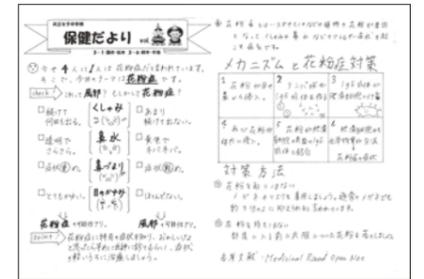
毎週土曜日の放課後に、各学年の相談係教諭や養護教諭がどんな相談でも対応できるように保健室で待機しています(前日までに申込が必要)。

【歯科指導】

中学1年生を対象に、学校歯科医の先生から指導を受けます。講話だけでなく、口腔観察やブラッシング指導を歯科衛生士から全員が直接受けることで、生涯に渡っての大切な知識を身につけます。

【健康講座】

推薦入試等で1月に進路が決定している高校3年生を対象に学校医、学校薬剤師、カウンセラー、学校歯科医による4講座を開講し、社会へ旅立つ生徒が健康に生活できるよう支援しています。



保健だより



カウンセリング室便り



歯科指導(中1)



カウンセリング室

■部活動

【中学の活動】

部活動には、ホームルーム活動や授業だけでは得ることができない価値ある学びが存在しています。規律ある上下の人間関係や集中力、協調性、時間に対する観念などは、部活動を通して得られる貴重な財産ともいえるでしょう。

学校としても積極的に支援しており、現在約95%の生徒がいずれかの部に所属して活動を行っています。



【活動日一覧】

	部名	活動日 (○定期練習)						
		月	火	水	木	金	土	
文化部	演劇部	○		○		○	○	
	英語部	○				○		
	音楽部	○			○	○		
	科学研究部(科学班)	○				○		
	科学研究部(生物班)	○		○				
	吹奏楽部	○		○		○	○	
	写真部	○		○		○	○	
	書道部	○			○		○	
	美術部(美術班・デザイン班)	○			○			
	放送部	○				○		
	食物研究部						○	
	手芸部					○		
	茶道部(遠州流)	○				○		
	茶道部(不白流)		○				○	
	能楽部	○		○	○			
弦楽合奏部	○		○		○			
運動部	卓球部	○		○		○	○	
	ダンス部	○		○		○	○	
	ソフトテニス部	○		○		○	○	
	バスケットボール部	○		○		○	○	
	バトン部	○		○		○	○	
	バドミントン部	○		○		○	○	
	バレーボール部	○		○		○	○	
	陸上部	○		○		○	○	
	太極拳部	○		○		○	○	
剣道部	○		○	○		○		
課外講座	華道 古流			○				
	華道 小原流			○				
	華道 草月流			○				
	華道 池坊			○				
	中国語会話講座			○				

●平常の部活動

活動終了時刻—午後5時30分
下校完了時刻—午後5時45分
定期試験前の1週間—活動不可



【高校の活動】

本校の生徒は、ほぼ全員が大学に進学するため、実質的な活動は3年春から夏休み頃で終了となります。通常の活動は週3日以内で勉強との両立が問題になることはほとんどありません。限られた時間や場所でも工夫を凝らし、都大会や全国大会を目指して頑張っている部も少なくありません。

参加率は、約90%となっており、課外講座まで含めると95%近い生徒が何らかの活動をしています。



【活動日一覧】

	部名	活動日						
		月	火	水	木	金	土	
文化部	文芸部	○		○				
	英語部		○		○			
	演劇部		○	○			○	
	音楽部	○			○	○		
	写真部		○				○	
	茶道部(遠州流)	○				○		
	茶道部(不白流)		○				○	
	書道部		○		○			
	映画部		○					
	放送部		○		○			
	美術部(美術班・工芸班・デザイン班)	○				○		
	地理歴史部				○			
	食物研究部	○						
	科学研究部(生物班)	○		○				
	科学研究部(化学班)		○		○			
科学研究部(地学班)	○			○	○			
運動部	吹奏楽部		○		○		○	
	弦楽合奏部		○		○		○	
	能楽部	○		○	○			
	バレーボール部		○		○		○	
	バドミントン部		○	○	○			
	バスケットボール部		○		○		○	
	卓球部				○		○	
	体操部		○	○			○	
	ダンス部			○	○		○	
	バトン部		○	○			○	
課外講座	ソフトテニス部		○		○		○	
	山岳部	○	○		○			
	歩行部		○		○			
	剣道部			○	○		○	
	太極拳部	○		○			○	
	華道 古流			○				
	華道 小原流			○				
	華道 草月流			○				
中国語会話講座			○					

●平常の部活動 活動終了時刻—午後5時30分 下校完了時刻—午後5時45分
定期試験前の1週間—活動不可

●合宿 原則として年1回の校外合宿(5泊6日以内)が認められています。

主な活動結果

- 音楽部
 - ・第72回東京都合唱祭50年連続出場(最長記録)
- 演劇部
 - ・東京都高等学校演劇連盟 中央地区大会 奨励賞
- 写真部
 - ・2017年 毎日写真コンテスト 高校生部門 入選2名
 - ・第10回タムロン鉄道風景コンテスト高校生部門 準大賞1名、審査員特別賞1名、入選2名
 - ・全日本写真展 高校生部門 入選4名
 - ・第2回きたもと写真コンクール 大賞1名、審査員特別賞1名、他12名入選
 - ・木と合板写真コンテスト 大賞1名、最優秀賞1名
 - ・他、19のフォトコンテストで延べ69名が受賞しました。
- 映画部
 - ・キネコ国際映画祭ティーンフィルムコンペティション部門 ノミネート
 - ・eigaworldcup自由作品部門 佳作
 - ・第12回映画甲子園品評部門 秀作2作品、佳作1作品
- 地理歴史部
 - ・全国高等学校鉄道模型コンテスト モジュール部門 最優秀・文部科学大臣賞
 - ・トレインフェスト2017(アメリカ合衆国ミルウォーキー市にて開催) The most detailed and best built賞(最優秀賞)
- 吹奏楽部
 - ・東京都高等学校吹奏楽コンクール 銀賞
- バレーボール部
 - ・春季リーグ兼春季大会 予選1位
 - ・第1支部春季大会(大園杯) 3位
- バドミントン部
 - ・第1支部球技大会 第3位
- バスケットボール部
 - ・東京都高等学校女子バスケットボール夏季大会 Cブロック準優勝
 - ・東京都高等学校女子バスケットボール第1支部球技大会 第3位
 - ・東京都高等学校女子バスケットボールB支部大会 Iブロック準優勝
- 卓球部
 - ・地区別大会(東地区) 団体ベスト16、個人ベスト8、個人ベスト16
- ダンス部
 - ・東京私立中学高等学校協会主催 創作ダンス発表会 優秀賞
- バトン部
 - ・バトントワーリング関東大会 金賞
 - ・バトントワーリング全国大会 銀賞
- ソフトテニス部
 - ・関東高等学校ソフトテニス団体選手権大会東京都予選 東京都ベスト16
 - ・東京都私立高等学校対抗戦3部 準優勝、2部昇格
 - ・第一支部球技大会 準優勝
- その他
 - 華道講座 小原流
 - ・学生いけばな競技会第1回大会より連続出場



Q&A

Q1 女子校の良さはどんなところにありますか。

A1 本学の建学の精神である「自立した女性」が自然と育っていく環境があることです。部活動や委員会も、すべて女子だけで行い、常にリーダーとなってその力を発揮する機会が多く存在しています。また、男子の目を気にすることなく、のびのびと生活することができます。

Q2 クラスや学年の人数も多いようですが、指導が行き届かないというようなことはありませんか。

A2 1クラス約40人で1学年8クラスあります。本校の特長は「面倒見のよさ」と「きめ細やかな指導」であるとの定評をいただき、教職員もそのように自負しています。他校と比べても専任教諭1人当たりの生徒数は少なく、特に中学では副担任や学年主任など、担任以外の目も多いため、トラブルには迅速に対応できます。

Q3 いじめへの対応はどうしていますか。

A3 いじめに対しては、学校として絶対に許さないという姿勢で臨んでいます。授業やその他あらゆる学校活動において、他を尊ぶ心を育み、いじめ等のトラブルを未然に防止する体制を強化しています。また、万一の場合に備え、「危機管理委員会」や「人権委員会」を設け、生徒がいつでも、どんなささいなことでも「メール」や「電話」を通じて伝えられる仕組みを作っています。

Q4 携帯電話の持参は可能ですか。

A4 中学では、登下校中の非常時・緊急時に限ったの使用に限定されますが、保護者の方からの申請があった場合に、携帯電話（スマートフォンも含む）の学校への持参を認めています。なお、高校では申請制ではありませんが、校内での使用はできません。登校・下校の確認を望まれる場合には、「登下校情報メール配信サービス」（任意・月300円）をご利用いただくことができます。

Q5 災害時の対応はどうなっていますか。

A5 災害発生時には生徒全員が校内で3日間は過ごせるよう、食料品・水・毛布・レスキューシート・簡易トイレなどを常備しています。東日本大震災に際しては、約1100名が学校に泊まり、翌日全生徒が無事に帰宅するまで、「緊急メール配信システム」（無料）を通して情報を随時ご家庭にお伝えしました。なお、東京・神奈川の私立校間では、「登下校時の緊急避難校ネットワーク」という協力・受け入れ体制が整備されています。

Q6 土曜日の扱いはどうなっていますか。

A6 平常授業を4時間行っています。目標としているレベルの学習指導を行うためには必要ということもありますが、本校では各種の学校行事にも力を入れていますので、週6日制を堅持しています。

Q7 生活指導や校則は厳しいですか。

A7 勉強だけを重視する学校ではありません。女子の特性に応じた、礼儀作法や服装・言葉遣いなどのマナー指導にも力を入れています。染髪やパーマ、ピアスなどのアクセサリ類は禁止していますが、私立学校としては常識的な内容だと思います。

Q8 学校の周りはどのような環境ですか。

A8 都心のもっとも整備された環境の中にあります。神保町には世界的に知られる古書店街があり、付近には学生会館や出版社・新聞社のビルが立ち並び、北の丸公園や国立近代美術館、皇居の緑深い森や日本武道館もあります。4つの地下鉄路線の駅から徒歩数分で、交通も便利です。

Q9 通学時間はどのくらいの方が多いいですか。

A9 かなり広い範囲から通学しています。45分から1時間以内が平均的ではありますが、約3割の生徒は1時間以上となっています。1時間半以上かかる生徒も2%ほどいます。通学圏については、P37をご覧ください。

Q10 両親とも仕事をもっているのですが、毎日お弁当を持たせなければなりませんか。

A10 お弁当を持参し、教室で食べるのが原則です。ただし、中学1年生の4月下旬から利用できる中高専用食堂があり、お弁当やパンを購入することも可能です。もちろん放課後にも利用できます。

Q11 部活動は盛んですか。加入率はどれくらいですか。

A11 中学での参加率は例年約95%、高校では約90%です。発達段階もあり、中・高の部活動は一部を除いて基本的に別活動となっています。中・高とも平日の活動曜日や時間は限られており、勉強との両立が問題になることはほとんどありません。詳しくはP25・26をご覧ください。

Q12 活躍している部活動、ユニークな部活動を教えてください。

A12 バトン部は関東大会・全国大会の常連です。地理歴史部のジオラマは昨年全国大会で最優秀賞を受賞し、注目を集めています。珍しい部としては、能楽部や太極拳部があります。また茶道部が2流派（遠州流・不白流）、さらに課外講座（兼部可）として華道が4流派（小原流・古流・草月流・池坊）設置されるというように、日本の伝統文化に接する活動機会にも恵まれています。

Q13 宿泊行事はありますか。

A13 中学1年の7月に2泊3日で藝科研修旅行、2年の6月に2泊3日で富士宿泊研修、3年の6月に3泊4日の関西修学旅行があります。高校では1年にプリティッシュヒルズへ2泊3日の研修、2年に九州へ4泊5日で修学旅行を実施しています。

Q14 PTA活動はどのようなものですか。

A14 学級PTAは中学で年2〜3回、高校で年2回程度開かれます。委員については、各クラス常任委員1名、委員2名を選出し、文化部、生活部、広報部に分かれて活動します。来校していただく回数はそれほど多くありませんので、お仕事をされている方でもお引き受け頂いています。詳しくはP36をご覧ください。



KYORITSU 6-YEAR EDUCATION

【入試&入学】

- 2019年度募集要項 P29
- 入学時にかかる経費と年間経費 P29
- 過去4年間の入試状況 P30
- 出題方針・結果・出題例 P31~34
 - 国語 P31
 - 算数 P32
 - 社会 P33
 - 理科 P34
- 入試&入学 Q&A P35
- PTA活動・保護者向け講座・安全管理 P36
- 通学圏関連 P37,38

2019年度募集要項

	海外帰国生入試	2/1入試	2/2入試	2/3インタラクティブ入試(AM)	2/3合科型入試(PM)
募集人員	20名	130名	110名	20名	40名
出願資格	※下記参照	平成31年3月小学校卒業見込みの者のうち、女子			
出願方法	インターネット出願のみ (詳しくはHP等をご覧ください)				
試験日	平成30年 12月2日(日)	平成31年 2月1日(金)	平成31年 2月2日(土)	平成31年 2月3日(日)	
合格発表 (インターネット発表のみ)	各試験日19時				2月4日(月)14時
学科 科目 試験 配点	国語or英語・ 算数・作文	国語・算数・社会・理科		英語インタラクティブ・算数	合科型論述テスト・算数
	(国or英)・算数・作文 各45分	国語・算数 各45分、 社会・理科 各35分		英イン約40分、算数30分	合科・算数 各50分
	(国or英)・算各100点、 作文 25点(225点満点)	国語・算数 各100点、社会・理科 各75点 (350点満点)		英イン約100点、算数50点 (150点満点)	合科・算数 各100点 (200点満点)
面接	あり(受験生のみ) 個別面接	なし			あり(受験生のみ) グループワーク
入学検定料	25,000円	2/1、2/2、2/3(AM)、2/3(PM)入試のそれぞれ1回出願は25,000円、2回分の同時出願は40,000円、3回分の同時出願は50,000円、4回分の同時出願は60,000円			
返金	なし	複数回の同時出願者で、2/1入試・2/2入試で合格し手続をした場合、合格により事後受験しなかった入試の検定料分を返金します。返金額は、同時出願で納入した検定料から、出願した最初の日程で合格し手続をした場合は25,000円を、2回目の日程で合格し手続をした場合は40,000円を減じた金額となります。なお、2/3入試での合格・手続に関しては、返金はありません。			
入学金納入	各合格発表時～2月4日(月)10:30				合格発表時～2月9日(土)23:59
入学手続	※※2月4日(月)8:30～11:00(本校窓口)				①2月5日(火)8:30～11:00 ②2月10日(日)9:00～10:00

※帰国生の出願資格は、原則として保護者の海外勤務により、本人が継続して1年以上海外に在留し、帰国して3年以内の者。

※※海外帰国生入試の入学手続は2月4日以外に12月3日・4日も可能です。

●入学時にかかる経費(30年度)

	中学	高校
入学金	¥300,000	¥300,000
制服(冬服)	¥37,070	¥53,700
指定用品(上履・かばん・体育着など)	¥60,720	¥22,330
制服(夏服)	¥36,980	¥20,700

iPadの購入について

2019年度より、タブレット端末(iPad)を1人1台学校一括で購入し、教育活動に使用します。費用は3年分の教育ツールや管理システム料を含めて7万円前後の見込みです。

●年間経費(30年度 参考)

	中学	高校	備考
授業料	¥500,000	¥500,000	4期分納
施設設備維持費	¥220,000	¥180,000	4期分納
旅行代金	¥198,000(3学年分の合計)	¥189,000(1・2学年の合計)	
生徒会費・副教材費・ 模試代・芸術鑑賞費 等	¥73,000程度	¥48,000程度	3学年の平均(29年度) ※高校ではコースや選択科目により 額が異なります。
後援会費	¥20,000	¥20,000	

※高校在学者対象に、国の就学支援金制度が適応されます(所得制限あり)。所得により月額9,900円が支給されます(加算制度あり)。

※上記の入学時および年間の経費は、平成30年度における実績・予定です。平成31年度における金額は異なる場合があります。

※平成30年度入学生より、施設設備維持費が変更となっています。

過去4年間の入試状況

●2/1入試

	30年度(4科)	29年度(4科)	28年度(4科)	27年度(4科)
募集人員	130名	150名	160名	160名
志願者数	421名	393名	458名	474名
受験者数	396名	371名	423名	436名
合格者数	150名	167名	184名	208名
実質競争率	2.6	2.2	2.3	2.1
受験者 平均点	国語(100点満点)	53.2点	64.5点	66.8点
	算数(100点満点)	62.9点	64.8点	60.0点
	社会(75点満点)	42.3点	41.4点	36.6点
	理科(75点満点)	39.2点	34.3点	35.9点
合格最低点(350点満点)	210点	213点	207点	202点

●2/2入試

	30年度(4科)	29年度(4科)	29年度(4科)	28年度(4科)
募集人員	110名	120名	120名	120名
志願者数	678名	654名	654名	736名
受験者数	514名	456名	456名	462名
合格者数	200名	193名	193名	220名
実質競争率	2.6	2.4	2.4	2.1
受験者 平均点	国語(100点満点)	64.4点	61.7点	61.7点
	算数(100点満点)	55.1点	65.9点	65.9点
	社会(75点満点)	38.5点	44.2点	44.2点
	理科(75点満点)	34.1点	40.4点	40.4点
合格最低点(350点満点)	205点	220点	220点	219点

●2/3合科型入試(AM)

	30年度	29年度	28年度
募集人員	40名	40名	30名
志願者数	330名	334名	468名
受験者数	185名	174名	176名
合格者数	48名	54名	41名
実質競争率	3.9	3.2	4.3
受験者 平均点	合科型科(100点満点)	48.0点	56.5点
	算数(100点満点)	53.2点	59.5点
合格最低点(200点満点)	115点	129点	129点

「31年度入試」 変更点

・3日午前実施の「2/3合科型入試」を3日午後、また3日午後実施の「インタラクティブ入試」を3日午前に変更します。

・合格発表や入学手続の日時、試験時間や内容等に一部変更が生じます。

●2/3インタラクティブ入試(PM)

	30年度	
募集人員	20名	
志願者数	68名	
受験者数	57名	
合格者数	28名	
実質競争率	2.0	
受験者 平均点	英語インタラクティブ トライアル(100点満点)	68.8点
	算数(50点満点)	28.6点
合格最低点(150点満点)	100点	

●海外帰国生入試

	30年度(12/3実施)	29年度(1/8実施)
募集人員	20名	10名
志願者数	128名(国語86/英語42)	46名
受験者数	127名(国語86/英語41)	34名
合格者数	107名(国語70/英語37)	28名
実質競争率	1.2	1.2
受験者 平均点	国語・英語(100点満点)	68.8点/84.3点
	算数(100点満点)	52.4点
	作文(25点満点)	19.4点
合格最低点(225点満点)	123点	115点

※繰上合格:全体で27年度46名、28年度21名、29年度50名、30年度24名。

※繰上合格は、帰国生入試とインタラクティブ入試を除いた3日程の入試での複数回受験者を対象として、手続・辞退の状況に応じて出しています。

【国語】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 日本語への興味関心を持ち、論理的な思考力が身についているか。
 解答形式 … 漢字の読み書き以外は、記号選択中心(五択)。平成29年度入試より記述問題(40字～80字)も数問導入。

2. 出題分野・問題数・配点

2/1入試	①漢字の読み書き…小問8(16点)	②ことばのきまり…小問4(8点)	③詩…小問5(15点)	④小説…小問7(32点)
	⑤説明文…小問7(29点)			
2/2入試	①漢字の読み書き…小問8(16点)	②漢字の部首…小問4(8点)	③詩…小問5(15点)	④随筆…小問7(29点)
	⑤説明文…小問7(32点)			
帰国	①漢字の読み書き…小問8(16点)	②慣用句…小問4(8点)	③詩…小問5(15点)	④小説…小問7(29点)
	⑤随筆…小問7(32点)			

3. 結果(平均点 [100点満点]・大問別正答率)

2/1入試	全体平均点 53.2点	合格者平均点 60.8点	① 79.6%	② 57.8%	③ 55.8%	④ 63.8%	⑤ 41.8%
2/2入試	全体平均点 64.4点	合格者平均点 71.7点	① 66.9%	② 56.8%	③ 67.2%	④ 71.9%	⑤ 55.3%
帰国	全体平均点 68.8点	合格者平均点 71.5点	① 77.9%	② 64.2%	③ 86.0%	④ 68.6%	⑤ 63.2%

4. 提示文章出典

- 2/1入試 大問三 韻文(詩)…今道友信『雲のゆくおるがん』(かまくら春秋社)2012.5
- 大問四 やわらかい文章(随筆)…嘸峻淑子『対話する社会へ』(岩波書店)2017.1
- 大問五 かたい文章(随筆)…ビー・ウィルソン 著/堤理華 訳『人はこうして「食べる」を学ぶ』(原書房)2017.3
- 2/2入試 大問三 韻文(詩)…藤井則行『アイ・アム・トム・ブラウン』(『友へ』教育出版センター)2006.2
- 大問四 やわらかい文章(随筆)…瀧本哲史『ミライの授業』(講談社)2016.7
- 大問五 かたい文章…ギョーム・ル・ブラン 著/伏見操 訳『働くってどんなこと? 人はなぜ仕事をするの?』(岩崎書店)2017.2
- 帰国 大問三 韻文(詩)…秋葉てる代『未という字』(『おかしなすきな魔法使い』銀の鈴社)1999.10
- 大問四 やわらかい文章(随筆)…吉沢久子『まいにちを味わう』(あさ出版)2016.12
- 大問五 かたい文章…若松英輔『言葉の贈り物』(亜紀書房)2016.11
- 作文素材(随筆)…榎本博明『「おもてなし」という残酷社会』(平凡社)2017.3
- 作文テーマ…日本語における「すみません」について自分が思うこと

5. 出題例

④ 温 ③ 密 ② 質 ① 調

B A B A B A B A

じつじつとたいせつにする

あたたかい

ひそかに

すまじがない

うまれつき

といただす

ととのえる

例 方

B A

やり方 (答イ)

用例解説

「前方」

イア

法前

② 次の1～4の漢字がA、Bそれぞれの意味として使われるように、下の漢字と組み合わせた二字熟語を作り、ウイサの記号で書きなさい。ただし、同じ記号は一度しか使ってはけません。

① 次の1～8の——線をつけたカタカナを漢字で、漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- 意識を集中させて矢を「る」。
- アツカンの演技に感動した。
- キンロウ感謝の日の意味を考へる。
- ソウキ移植の手術が成功した。
- 知り合いにチヨメイな画家がいる。
- 書類作成のため判子をお持ちください。
- この計画には極力参加したい。
- 異なる宗派のお寺に行ってみる。

【算数】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 小学校で習う基本的な知識の定着ができているか。
 問題文をよく読み、素早く理解し、解法を考へることができるか。
 解答形式 … 帰国、2/1入試、2/2入試、2/3インタラクティブ入試は答えのみを解答欄に記入する。
 2/3合科型入試は途中式などを記述する問題もある。
 定規を使い、自分で長さを測って計算する問題やグラフ・図形の作図問題もある(定規は学校で用意します)。

2. 出題分野・問題数・配点

2/1入試	①計算…小問4(20点)	②小問集合…小問5(25点)	③面積[定規問題](5点)
	④図形の移動…小問3(15点)	⑤数の性質…小問4(19点)	⑥点の移動、グラフ…小問4(16点)
2/2入試	①計算…小問3(15点)	②小問集合…小問6(30点)	③体積[定規問題](5点)
	④分数の性質…小問5(10点)	⑤体積・表面積…小問2(10点)	⑥規則性…小問3(15点)
	⑦流水算…小問3(15点)		
2/3合科	①計算…小問3(15点)	②小問集合…小問6(30点)	③面積[定規問題](5点)
	④問題づくり…小問2(15点)	⑤旅人算[記述問題](16点)	⑥数の性質…小問5(19点)
2/3インタラクティブ	①計算…小問8(24点)	②計算…小問2(6点)	③小問集合、作図[定規問題]…小問6(20点)
帰国	①計算…小問3(15点)	②小問集合…小問6(30点)	③面積[定規問題](5点)
	④規則性…小問3(16点)	⑤旅人算…小問3(16点)	⑥水の体積…小問3(18点)

3. 結果(平均点 [100点満点、インタラクティブのみ50点満点]・大問別正答率)

2/1入試	全体平均点62.9点	合格者平均点75.0点	① 83%	② 67%	③ 39%	④ 39%	⑤ 82%	⑥ 40%
2/2入試	全体平均点55.1点	合格者平均点69.3点	① 83%	② 67%	③ 27%	④ 43%	⑤ 50%	⑥ 55%
	⑦ 25%							
2/3合科	全体平均点53.2点	合格者平均点71.3点	① 62%	② 74%	③ 21%	④ 45%	⑤ 34%	⑥ 56%
2/3インタラクティブ	全体平均点28.6点	合格者平均点32.3点	① 69%	② 73%	③ 39%			
帰国	全体平均点52.4点	合格者平均点56.4点	① 79%	② 64%	③ 59%	④ 23%	⑤ 65%	⑥ 36%

4. 出題例

① モーターがついている長さ20cmのおもちゃの船があり、静水では前向きでも逆向きでも秒速1.2cmで動きます。この船を、下の図1のように、右向きに秒速0.8cmで流れる水に浮かべて動かします。船は、最初は水の流れる方向に前向きで動きますが、先端が地点Pに着くと、すぐに逆向きに動きます。

下の図2のグラフは、図1のAとBの間の影をつけた部分に入っている船の長さ(かげ)と時間の関係を表したものです。後の各問いに答えなさい。

図1

図2

- AとBの間の長さは何cmですか。
- AとPの間の長さは何cmですか。
- 図2のxにあてはまる数を求めなさい。

【社 会】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 知識と理解の積み重ねができていないか。グラフ・表・図など資料を読み取る力があるか。

解答形式 … 記号選択や語句を記述する形式を中心とした出題。

人物や地名などは漢字指定もある。簡潔に説明をさせる問題も出題する。説明問題について部分点はない。

2. 出題分野・問題数・配点

- 2/1入試 ① 歴史に関する問題…小問9(18点) ② 地理・歴史に関する問題…小問13(27点)
 ③ 地理に関する問題…小問8(9点) ④ 公民に関する問題…小問8(8点) ⑤ 公民に関する問題…小問7(13点)
 2/2入試 ① 歴史に関する問題…小問15(30点) ② 地理に関する問題…小問7(14点)
 ③ 地理に関する問題…小問9(11点) ④ 公民に関する問題…小問5(10点) ⑤ 公民に関する問題…小問5(10点)

3. 結果(平均点〔75点満点〕・大問別正答率) ※大問別正答率に一部の論述は含まない。

- 2/1入試 全体平均点 42.3点 合格者平均点 49.0点 ①52.6% ②55.5% ③56.6% ④64.1% ⑤58.0%
 2/2入試 全体平均点 38.5点 合格者平均点 47.4点 ①44.2% ②49.1% ③55.1% ④68.9% ⑤56.3%

4. 出題例

① 次の史料 [A] ~ [F] を読み、後の各問いに答えなさい。

(中略)

[C]

一. この安土の町を楽市としたからには、いろいろな座の規制や税などは免除する。

[D]

一. 文武弓馬の道に、ひたすら精を出すようにしなさい。

一. 諸国の城は、修理するだけであっても必ず届け出ること。新しい城をつくることは禁止する。

(中略)

問1. 史料 [C] を制定した人物に関して述べた文として、誤っているものを次から

1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 一向宗の拠点である、石山本願寺をおさえた。
 イ. 足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅ぼした。
 ウ. 桶狭間の戦いで、今川義元を破った。
 エ. 全国に禁教令を出し、キリスト教を禁止した。

問2. 史料 [D] は何という法令か、漢字5字で答えなさい。

【理 科】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 自然現象に関する基礎的な知識が身についているか。

理科の知識をつかって科学的推論ができるか。

解答形式 … 記号選択または用語・数値を解答する形式の問題を多くする。

簡単な説明や、グラフなどの作図をさせる問題も出題する。

2. 出題分野・問題数・配点

- 2/1入試 ① 気象…小問5(15点) ② 物質と状態変化…小問5(15点) ③ 動物のしくみと成長…小問5(15点)
 ④ 燃焼…小問4(12点) ⑤ レンズと鏡…小問6(18点)
 2/2入試 ① 溶解…小問4(12点) ② 電気…小問4(12点) ③ 気体の発生…小問4(12点)
 ④ 植物のつくり…小問7(21点) ⑤ 天体とそのうごき…小問6(18点)

3. 結果(平均点〔75点満点〕・大問別正答率)

- 2/1入試 全体平均点 39.2点 合格者平均点 46.5点
 ①50% ②56% ③53% ④57% ⑤48%
 2/2入試 全体平均点 34.1点 合格者平均点 43.3点
 ①46% ②38% ③40% ④57% ⑤41%

4. 出題例

① 共子さんと先生の会話文を読み、後の各問いに答えなさい。

(中略)

共子：どうして表側と裏側でつくりが違うのですか。どちらもAのように細胞のすきまを少なくすれば良さそうなのに。

先生：いいところに気がついたね。これは効率よく光を利用するためなんだ。図2を見てごらん。葉の細胞の中はほとんどが水で、細胞のまわりは空気であらわされていると考えてよいので、1つの細胞の中を進んでいる光は、空気との境界ではね返るんだよ。

共子：(③)ですね。

先生：そう。そのため円柱形の細胞のはしに入った光は、細胞の中を反対側のはしまで進む。光ファイバーのしくみと同じだね。

共子：なるほど。

先生：そして、光は細胞から出るときに折れ曲がるんだ。

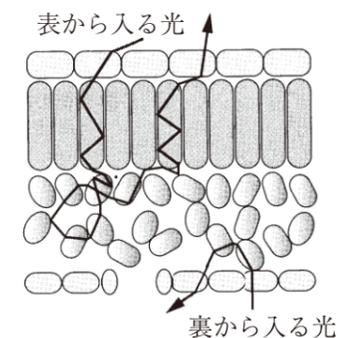
共子：(④)ですね。

(中略)

(1) 文中の空らん(③)・(④)に入る適切な語句を次からそれぞれ選び、記号で書きなさい。

- ア. 吸収 イ. 屈折 ウ. 反射 エ. 直進

図2



Q&A

Q1 複数回受験での優遇措置はどのようなものですか。

A1 繰り上げ合格は、複数回受験の方を対象としています(出願のみは不可)。ただし、12/2帰国生入試と2/3インタラクティブ入試(AM)は複数回受験に含めませんが、他の日程での得点が繰り上げの対象となります。

Q2 繰上合格者は何人くらい出るのでしょうか。また繰上合格者への連絡方法はどのようになっていますか。

A2 手続き状況によりますので、年度によって違いがあります。P30をご参照ください。繰上合格が出る場合の連絡は、一人ずつ確認がとれるまで電話で行います。そのため、出願に際しては携帯電話など自宅以外の連絡先も登録していただきます。

Q3 他校との併願の場合、入学手続きを2回に分けたり、その発表日まで待つような制度はありますか。

A3 1次手続き、2次手続きの制度はなく、合科型入試を除いて基本的にどの入試日程も、入学手続きは2月4日です。ただし、帰国生入試は12月3日・4日でも手続きができるようになっています。なお、合科型入試の入学手続きは2月5日と2月10日です。

Q4 出願の際、調査書などの必要な書類はありますか。

A4 2月入試(2/1・2/2・2/3のすべての日程)では必要ありません。すべてインターネット上での入力によって出願することができます。ただし、帰国生入試においては、「海外在留証明書」(所定用紙)や「成績証明書」(海外の最終成績のコピー)が必要となりますが、提出方法などの詳細については、募集要項やHPでご確認ください。

Q5 算数を苦手としているのですが、教科による足切りはありますか。

A5 算数に限らず、科目ごとの基準点は設けていません。いわゆる足切りは行わず、合計点をもとに選考します。1科目くらい苦手な科目があっても、他の科目でカバーすることが可能です。

Q6 受験に向けて、どんな勉強をすればよいのでしょうか。

A6 本校の入試問題(2/1・2/2・帰国生入試)はあくまで基礎基本重視で、難問奇問の類は出題しないよう心掛けています。国語であれば漢字・語句、算数であれば計算や一行題など基本的な知識や学力を積み重ねておいてください。また、理科・社会は幅広い分野から出題されますので、苦手分野であっても、最低限の基礎知識は身につけておくのと良いでしょう。類題が出ることもありますので、過去問の研究も有効です。

Q7 「2/3合科型入試(PM)」の対策はありますか。

A7 基礎学力を確認しつつ、受験生の思考力や表現力を多面的に評価する記述型の試験です。「算数」では途中式などを採点対象とする問題、また「合科型論述テスト」では理科や社会の知識を用いて答える問題が出題され、知識や理解をもとに自分の考えを論理的に説明することが求められます。一般的な受験勉強で充分対応できる問題ですが、本校の過去問だけでなく、問題集や模擬試験などの記述問題に慣れておくのと良いでしょう。秋からのチャレンジ講座もぜひ受講してください。

Q8 「2/3インタラクティブ入試(AM)」はどのような入試ですか。

A8 「英語インタラクティブトライアル」と「算数」の2科目の入試です。「英語インタラクティブトライアル」は、英語の実力をペーパー試験で測ろうというものではありません。英語を介したゲームや対話等を通して、英語を理解しよう、英語を用いて表現しようとする姿勢を観察・評価します。秋以降には「インタラクティブチャレンジ講座」で疑似体験ができます。「算数」の試験は、計算力など基礎的な力を確認する内容です。

Q9 海外帰国生入試の「資格」と「試験科目」を教えてください。

A9 資格は原則として「海外在住1年以上」で、「帰国後3年以上」です。試験科目は、算数と作文・面接が全員共通で、他に国語か英語(英検準2級程度)のどちらかを選択します。国語・算数は、2/1・2/2入試と形式や傾向は同様ですが、難易度はやや下がります。作文は、短い文章を読んで、自分の意見や経験を600字程度で記述します(英語で書くことも可)。面接は受験生をみの個別面接で、海外経験などを質問します。

Q10 帰国生に関する、受験や入学後における特別な扱いはありますか。

A10 国際学級を設けるなどはありませんが、「2/3インタラクティブ入試(AM)」での入学生を含めて、すでに英語などで一定の実力を有している生徒がその力をさらに伸ばせるよう、随所で配慮・準備を図っています。

英会話では取り出し授業を行い、また現在少人数制で行っている中1・中2の英語の授業も習熟度を加味します。さらに放課後にランゲージスクエアを活用しての英会話のスキルアップやチューターを利用したの苦手科目のフォローアップも可能です。なお、帰国生入試では、英検準2級以上を取得している帰国生には、受験に際しての優遇措置を設けています。

Q11 複数の日程で受験する場合、検定料はどのようになりますか。

A11 2月の4回ある入試(2/1・2/2・2/3AM・2/3PM)において、1回のみ出願は25,000円、2回分の同時出願は40,000円、3回分の同時出願は50,000円、4回分の同時出願は60,000円です。複数回同時出願者で、2/1・2/2入試に合格し、手続きした場合には、合格により以後受験しなかった入試の検定料分が返金されます。



【PTA活動】

本校のPTAは、在学生徒の保護者と教職員から組織されています。学級PTAは中学で年3回、高校で年2回程度開催され、クラスの親睦を深めるほか、各部の企画による様々な行事が催されます。

●委員

委員は、各クラスから常任委員1名、委員2名が選出されます。

「6年間で必ず1回」などのルールはありません。来校回数もそれほど多くないので、お仕事をされている方でもお引き受け頂いています。

●構成

次の3部で活動しており、活動内容例は以下の通りです。

文化部：生徒・会員の教養を高める行事の実施

活動例… 鳩山会館訪問と親睦会

宝塚歌劇・帝国劇場観劇会

大使館での文化交流と親睦会

生活部：生徒・会員の福利厚生、並びに健康・安全増進を図る企画の実施

活動例… 校内緑化運動(玄関・トイレの花飾りなど)

礼法講習会・オープンキャンパスのお手伝い

広報部：機関紙の編集発行、学校説明会のお手伝い

活動例… 機関紙「沈丁花」編集発行

共立祭・オープンキャンパス・学校説明会のお手伝い



文化部(鳩山会館訪問)



生活部(校内緑化運動)



広報部(説明会相談コーナー)

【保護者向け講座】

本校の教育を実感して頂くため、土曜日に様々な講座を開講しています。

●父母デッサン教室…美術科教諭による人物クロッキー・デッサン講座

●礼法講習会…礼法講師による小笠原流礼法の基本講座

●日本文化入門講座…華道講師による入門講座

【安全管理】

本校では安心してご子女に通っていただけるように、学園で防災センターを設け、365日24時間体制で警備員を配置して生徒の安全確保に努めています。校内にはAED(自動体外式除細動器)を5台設置し、不慮の事故にも備えています。

防災備蓄に関しては、非常食、水、生理用品、テント、防寒用レスキューシート、毛布、簡易トイレを3日分用意しています。耐震性についても、平成12年度から補強を重ねてきたため、東日本大震災においても構造的な被害はほとんどありませんでした。

ご家庭への連絡についても、自然災害や交通機関運休、不測の事態に際しては「緊急お知らせ情報メール配信システム」を、また登下校の情報に関しては「登下校情報メール配信サービス」(任意申込制・月300円)を運用しています。

また、生徒に対しては「防災のしおり」の配布、避難訓練などを通じ、防災意識啓発を高めるよう心がけています。

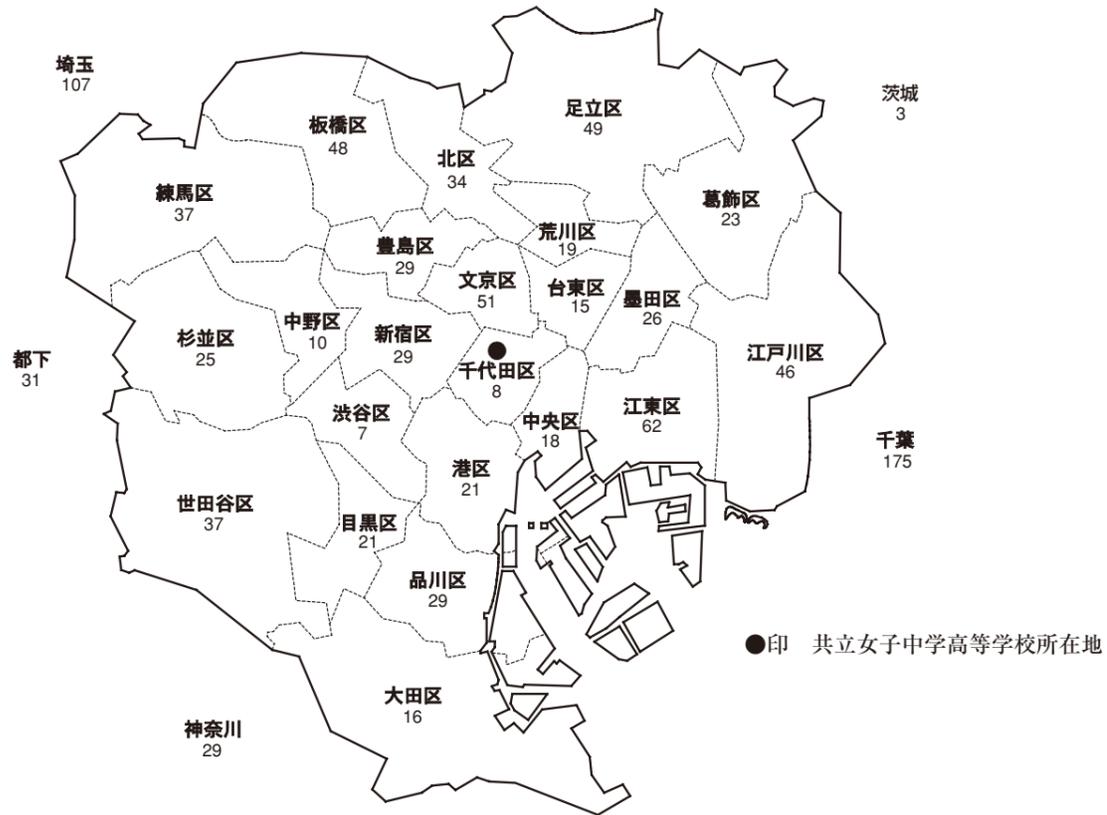


学級 PTA

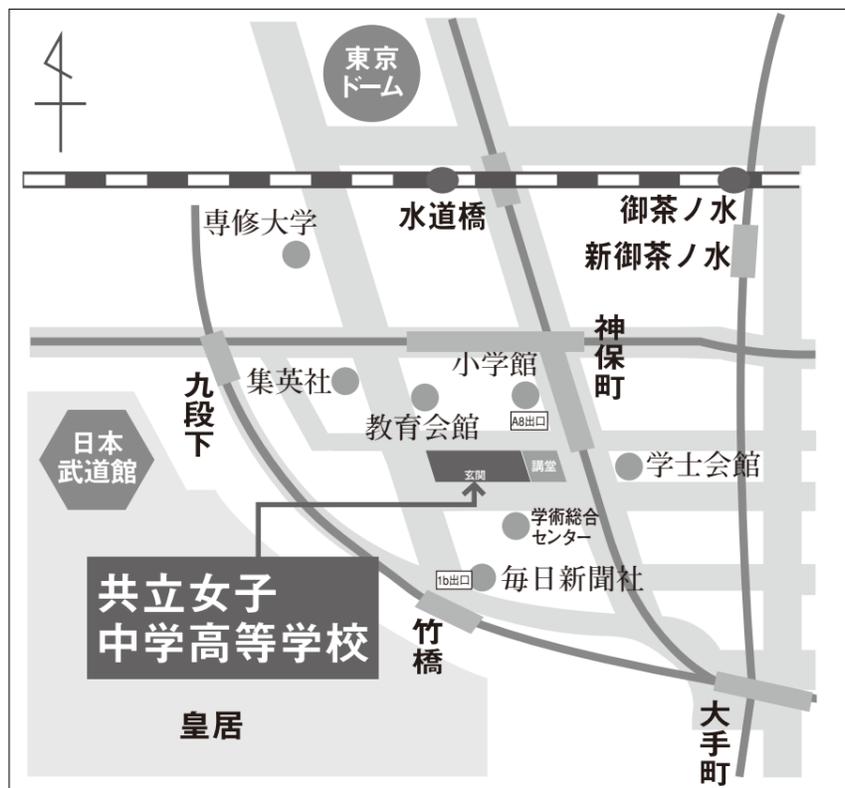


防災訓練

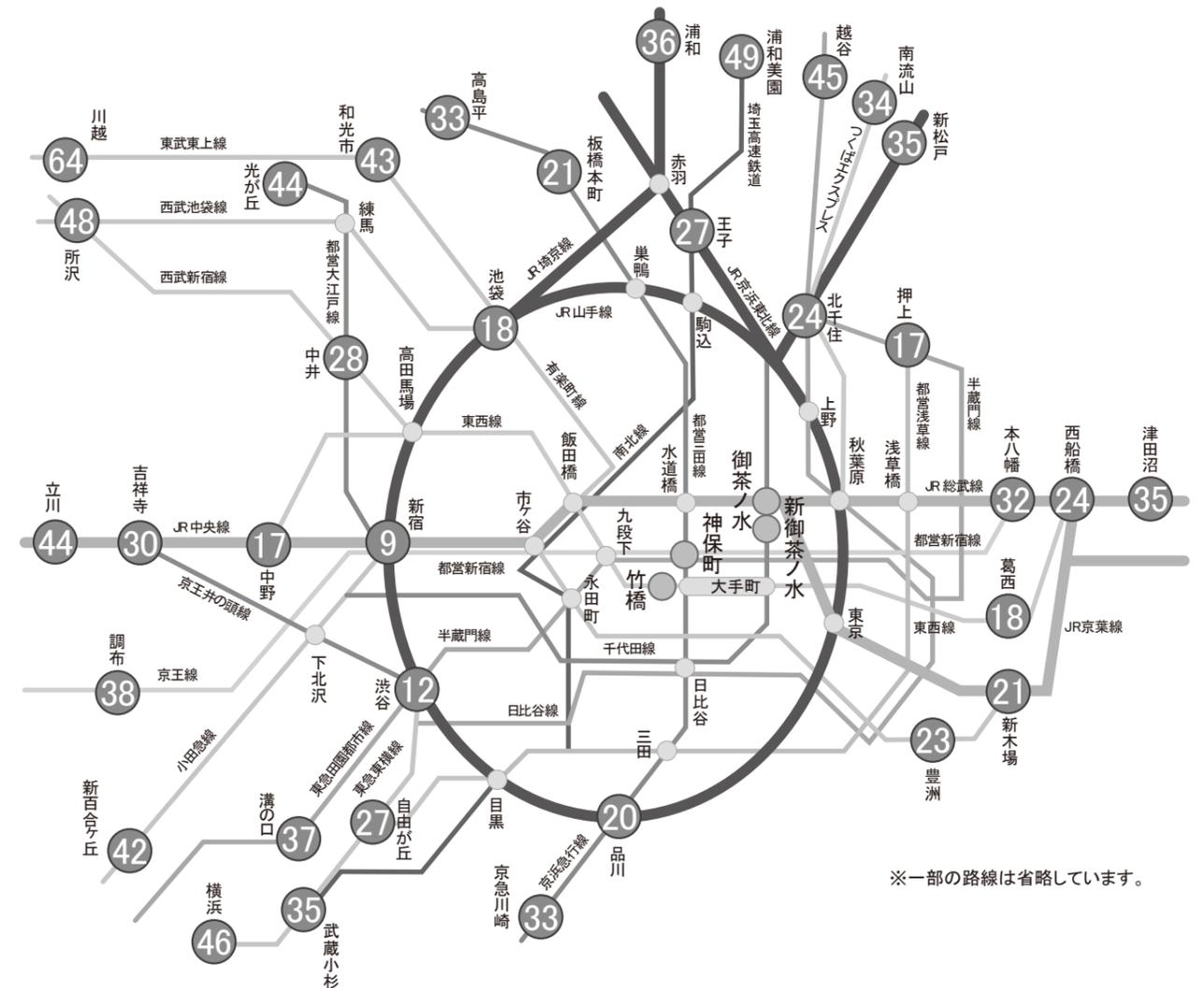
●中学生の住所分布(中学生徒数1,005名)(平成30年4月)



●学園周辺地図



●主要駅から最寄り駅(神保町・竹橋・御茶ノ水・新御茶ノ水)までの所要時間



■首都圏主要駅から本校最寄り駅までの所要時間と交通

- ・渋谷←地下鉄半蔵門線→神保町 12分
- ・新宿←都営新宿線→神保町 9分
- ・池袋←JR山手線→巣鴨←都営三田線→神保町 18分
- ・中野←地下鉄東西線→竹橋 17分
- ・立川←JR中央線快速→中野←地下鉄東西線→竹橋 44分
- ・調布←京王線・都営新宿線→神保町 38分
- ・武蔵小杉←東急目黒線・都営三田線または東急東横線・地下鉄半蔵門線→神保町 35分
- ・溝の口←東急田園都市線・地下鉄半蔵門線→神保町 37分
- ・新百合ヶ丘←小田急線・都営新宿線→神保町 42分
- ・横浜←JR東海道本線・都営浅草線→日本橋←地下鉄東西線→竹橋 46分
- ・西船橋←地下鉄東西線→竹橋 24分
- ・新松戸←JR常磐線・地下鉄千代田線→新御茶ノ水 35分
- ・南流山←つくばエクスプレス→北千住←地下鉄千代田線→新御茶ノ水 34分
- ・大宮←JR湘南新宿ライン→池袋←JR山手線→巣鴨←都営三田線→神保町 46分
- ・浦和美園←埼玉高速鉄道・地下鉄南北線→市ヶ谷←都営新宿線→神保町 49分
- ・所沢←西武新宿線→高田馬場←地下鉄東西線→竹橋 48分
- ・川越←東武東上線・地下鉄有楽町線→飯田橋←地下鉄東西線→竹橋 64分

●最寄り駅から本校までの所要時間

- ★地下鉄都営三田線・新宿線・半蔵門線「神保町駅」徒歩3分
- ★地下鉄東西線「竹橋駅」徒歩5分
- ★JR中央線「御茶ノ水駅」、「水道橋駅」徒歩15分
- ★地下鉄千代田線「新御茶ノ水駅」徒歩12分

※所要時間には乗り降り・乗り換え等の時間を含みます。
 ※所要時間は時間帯・歩く速さ等により異なります。

